

イラクの旗

旗で見るイラクの歴史と現在

2007.6.30 第五（復習）学会用に編集

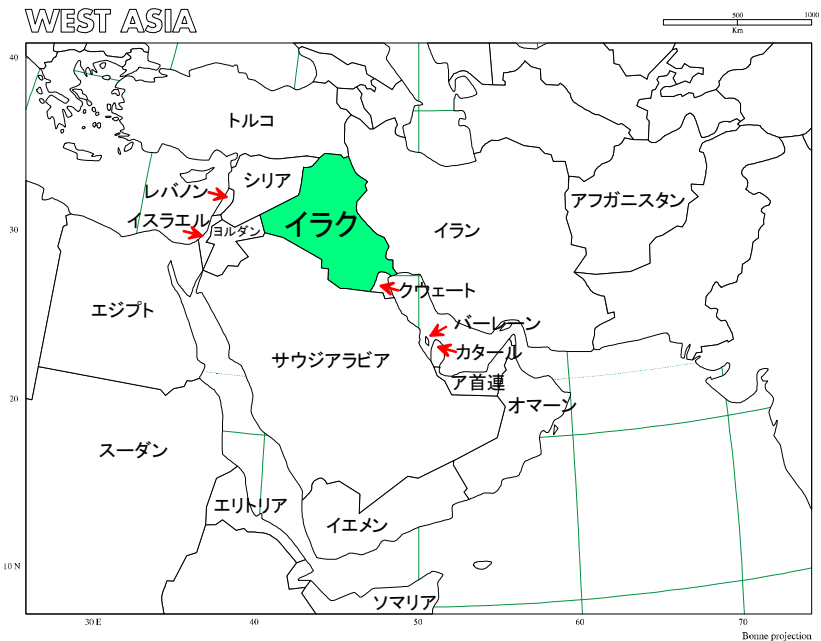
2003.4.26,5.24,6.28,7.26.8.24

仮説実験授業研究会・北海道・丸山秀一

[C] Maruyama Shuichi

■イラク共和国

イラクはアラビア半島の北のチグリス・ユーフラテス川の流れる古代文明発祥の地にある共和国です。面積は日本より少し大きく、人口は6分の1ぐらいです。



イラクの住民の約 75%がアラブ人で、イラクのようにアラブ人が多い国を「アラブの国」ということがあります。アラブ人とは人種ではなく、もともとはアラビア半島に住んでいたひとたちのことで、アラビア語を話し、アラビア語で書かれたコーランを聖書とするイスラム教徒たちのことです。アラブ人であったイスラム教の創始者（預言者）ムハンマドをアラブ人は誇りにしているわけです。

世界にはイラクのような「アラブの国」がいくつぐらいあるのでしょうか。アラブの国々は「アラブ諸国間の関係強化、共同利益の追求・調整」を目的として「アラブ連盟」という組織を作っています。では、アラブ連盟に加盟している国の数はどれぐらいでしょうか。

アラブ連盟には現在 22 カ国（パレスチナ含む、ほかにエリトリアが加盟申請中、リビア脱退申請中）が加盟しています。これらのアラブ諸国を合わせると、人口は約 3 億、面積は日本の約 30 倍（1200 万平方キロ、米国は約 900 万平方キロ）となります。

これらのアラブの国は地図で見ると地理的にだいたいかたまって見えるように見えます。もしかしたら、これらアラブの国々はかつて一つの国だったことがあるのかも知れません。あなたはどう思いますか。

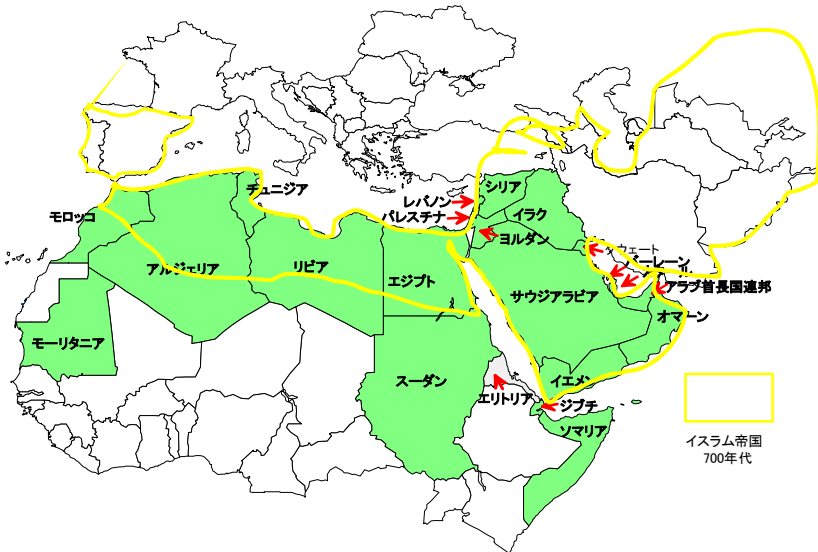


アラブ連盟総会の様子と紋章



■イスラム帝国

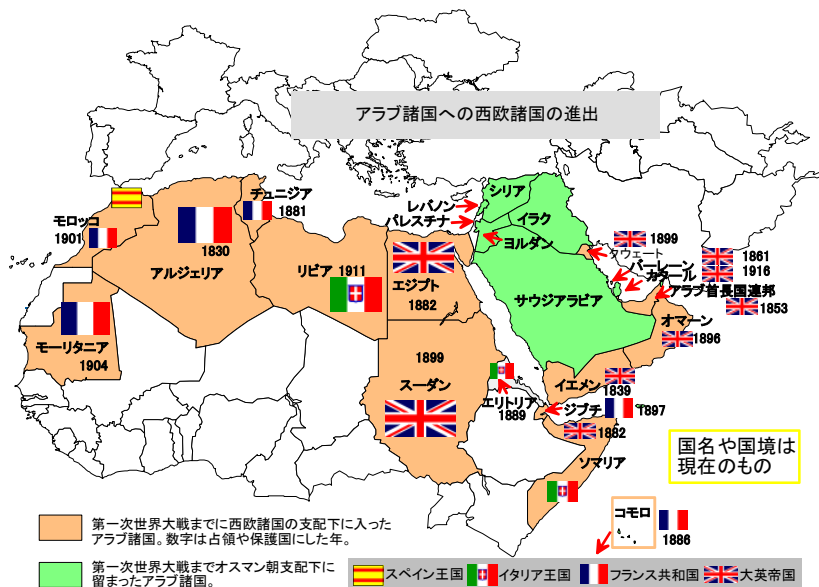
かつてイスラム教を世界に広げるため、アラブ人たちは周辺の国々を制圧し、大帝国を築き上げました。これがイスラム帝国です。現在のアラブの国々のほとんど（17カ国）は、かつてイスラム帝国の一部として、ひとつの国の中にありました。イスラム帝国の一部となったことがない国も、別の独立国だったり、イスラム帝国に抵抗する勢力に属していたりしたわけではなく、当時は国としてのまとまりがなかつただけです。だからアラブの国々はイスラム教で強く結びついているとも言えます。



かつてイスラム帝国の一部だったアラブの国々は、どうして現在たくさんの国に分かれているのでしょうか。まず分裂した時期を予想してみましょう。たくさんの国々に分裂したのはいつのことだと思いませんか。

アラブ人支配によるイスラム帝国は、そのうち他民族による支

配へと変わっていきました。しかし、イスラム帝国はイスラム教によって統治する国であり、イスラム教は民族による差別を認めていませんから、支配者がどの民族であろうと、アラブ人にとってあまり影響はなく、またアラブ人はイスラム教開祖の民族としていつも尊重されていました。アラビア語で書かれているイスラム教の聖典『コーラン』は「アラビア語で唱えるもの」であり、それをアラブ人たちは唱えることができたからです。つまりイスラム帝国は、帝国の支配者（王朝）を変えながら、トルコ人王朝のオスマン朝まで 1000 年以上も存続し続けました。



1800 年代から英仏伊などの西欧列強は次々と植民地支配に乗り出し、世界を分割していきました。列強はオスマン朝帝国の支配の及んでいなかった、ソマリア（英伊 1882）、コモロ（仏 1886）、ジブチ（仏 1888）、モーリタニア（仏 1904）を植民地とし（国名

は現在のもの), さらにオスマン朝の帝国周辺部も, アルジェリア (仏 1830), イエメン (英 1839), アラブ首長国連邦 (英 1853), バーレーン(英 1880), チュニジア(仏 1881), エジプト(英 1882), カタール (英 1882), オマーン (英 1896), スーダン (英 1899), クウェート (英 1899), モロッコ (仏西 1901), リビア (伊 1911), を保護領保護国などとしてその支配下においていきました。

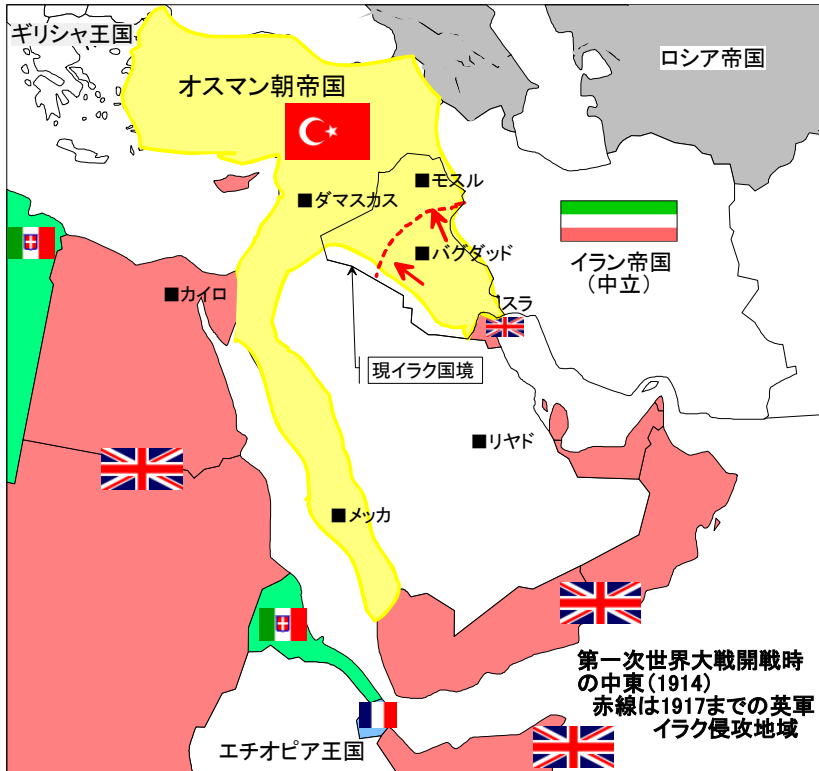
こうして 1914 年に第一次世界大戦が始まったとき, オスマン朝の支配が及んでいたのは現在のアラブの国々では, イラク, ヨルダン, シリア, レバノン, サウジアラビアだけでしたが, これらの国も大戦後に分離されることになったのです。

1899 年オスマン朝帝国内のクウェートを保護下においた英国はイラク進出の基礎を固めました。しかしドイツもオスマン朝からバグダッド鉄道の敷設権 (1902) とイラク北部の石油開発権 (1904) を獲得, このように残されたオスマン朝の領土も列強により蚕食されていきました。

第一次世界大戦が始まるとすぐに英国はオスマン朝に宣戦布告し, 大軍を派遣してバスラを占領し, 1917 年にバグダッドをその支配下に収め, 「オスマン朝の圧政とドイツの野心を粉碎して, イラクをオスマン朝の足かせより解放する」と宣言して北進を続けました。こうして現在のイラクの大半は英軍の支配するところとなったのです。オスマン朝自体は, 英仏露に宣戦布告することなく, 防衛戦争としてこの大戦を戦いました。

オスマン朝は 1881 年に列強の世界進出や中央政府の腐敗により領土は次々と減少し, 財政も破綻して債務管理委員会が英国, フランス, ドイツ, オーストリア, イタリア, オスマン朝で作られ, 債権が管理されることになりました。そうして中央政府の政

治的実権を失ったオスマン帝国は国家存続の危機に立っていました。



もともとオスマン朝の帝国経営は、イスラム教を拠り所としたもので、領土内の各国はオスマン朝に税金を納めるだけで半独立的な性格をもっていました。またイスラムの教えの通り、民族を差別することなく、トルコ人支配にもかかわらず、アラブ人も尊重されており、アラブ人たちも「イスラムの指導者=カリフ」であるオスマン朝のスルタンに従順に従っていました。オスマン朝はまぎれもなくイスラム帝国だったのです。

オスマン朝の破綻がはっきりしてきたとき、改革派トルコ人たちはヨーロッパ列強の模倣を始めました。ドイツ将校を招いてヨーロッパ型軍団を作り、反専制、自由主義を標榜し 1876 年には憲法が制定されました。しかしこういった政教分離は、イスラム帝国のアイデンティティを自ら失うもので、全イスラムの共通語であったアラビア語の使用を禁止し、他民族を蔑視するトルコ民族主義へと傾倒していったのでした。

[質問]

戦争が始まるとオスマン朝はアラビア半島のそれぞれの地方の太守に同盟国側に立って参戦するように求めました。ではほとんどの太守たちはどうしたと思いますか。

予想

- ア 同盟国側で参戦した
- イ 傍観した
- ウ 連合国側で参戦した

■ 民族自決

アラブ人たちは、オスマン朝がイスラム教の教えと相容れないトルコ民族主義になっていったのを苦々しく思っていました、自らの宗教心を捨てることなく、カリフ（イスラムの指導者）であるスルタンに忠誠を誓っていました。だから英国はオスマン朝が「ジハード（聖戦）」を布告して、アラブ人たちが英国と敵対することを最も恐れ、戦争前からアラビア半島の多くの太守や部族に対して積極的に条約を交わして、オスマン朝から軍事的に切り離すことに成功していたのです。

半島中一番の有力者だったイスラム教の聖地メッカの太守フセイン（イラク大統領とは無関係）も、西欧の民族主義に影響されて、アラブ独立国家実現の夢を持っていました。彼は連合側に立って参戦することの見返りとして「アラビア半島にシリアとイラクを含めた地域にアラブ人の独立国家を作ることを英国が認める」という条件を出しました。しかし英国は「(すでにフランスの



権益を認めている) シリアと (英国が占領している) イラクは除外する」との見解を示し、話し合いは決着のつかないまま「英国はアラブが自力で解放した地域に干渉しない」という約束(フセイン＝マクマホン協

定) だけで、1916年フセインは独立を宣言してオスマン朝に反旗を翻したのです。これが「アラブ革命」の始まりです。

そのフセインに英軍情報将校として協力したのが映画「アラビアのロレンス」で知られるロレンス中尉でした。

■アラブの旗

初期のアラブの旗は一色（白か黒か緑か赤）で、そこに銘が記されているものでした。ムハンマドは白旗を掲げて戦いメッカ入城を果たしたと言われています。

1911年アラブ民族主義の秘密組織の一つであったイスタンブールの「アラブ文学クラブ」の青年たちは、サフィー・アラディン・アルヒリーの詩（「白は我々の功績、黒は我々の戦い、緑は我々の大地、赤は我々の剣」）より、「アラブの旗は、白・黒・緑・



赤の4色からなること」と決めました。

←アラブ統一運動旗 1911 (*1)

フランスの影響下にあったシリアでは、自由主義を学びアラブの独立を目指す「青年アラブ協会」が急進的な活動を行い、1914年「これから独立するアラブ国家は、ウマイヤ朝（白）とアッバース朝（黒）とファーティマ朝（緑）のそれぞれの色を表すこと」と宣言し、三色旗を制定しました。この旗



のデザインは、フランス国旗の影響があるに違いありません。

アラブ統一運動旗(*1)1914

しかしこれらの組織は、トルコ中心主義へと傾倒していったオスマン朝当局の取り締まりにより、活動を抑えられていきました。そこでアラブ独立の直接的行動は、アラブ民族主義組織とは別の勢力＝フセインによるものとなりました。

[質問]

それでは 1916 年に独立を宣言しオスマン朝に対して反旗を翻したフセインが掲げた旗は、これらのアラブ統一旗に似ていたと思いますか。フセインの旗は、どんな旗だったのでしょうか。

旗を見ると、その主張がわかるかも知れません。

予想

- ア アラブ統一旗に似ていた
- イ オスマン朝帝国旗に似ていた
- ウ 英国旗に似ていた
- エ そのほか



オスマン朝帝国
by António Martins



連合王国
by António Martins

■ハーシム家

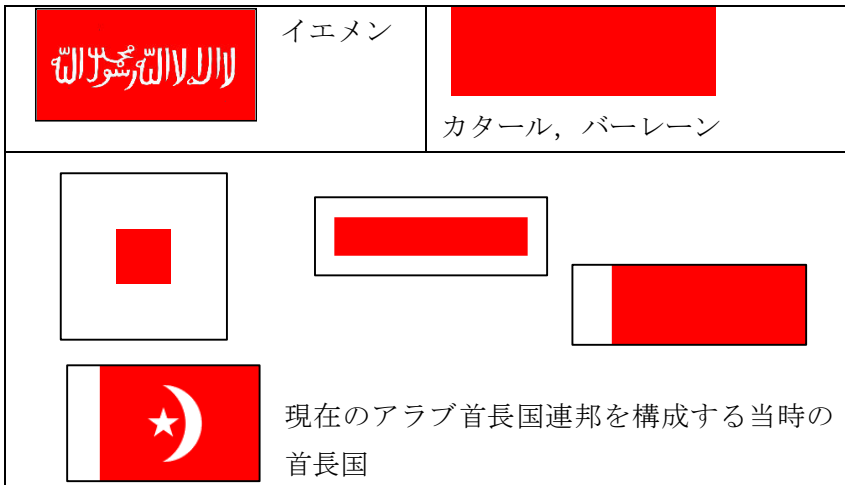


フセインの革命旗

1916

フセインがヘジャズで始めたアラブ革命は、赤旗の元で行われました。この赤色は預言者ムハンマドの曾祖父であるハーシムの子孫であり、代々メッカのアミール（太守）であるハーシム家の色です。

当時の英国と海賊行為の禁止条約を交わしたアラビア半島のペルシャ湾岸のアラブ部族も、海賊でないことを示すために旗を作りました。それらの旗は、みんなオスマン帝国の旗によく似た赤旗でした。（図は*8より）



このように、アラブ人たちが赤旗にイスラム教のシンボルである「星と三日月」の旗をおいたオスマン朝の旗を、けっして嫌い

ではなく、アラブ革命の目的が「反オスマン朝」ではなかったことがよくわかります。

映画「アラビアのロレンス」より「アラブ革命」



[質問]

英軍の協力を得たフセインの蜂起は成功し、彼はヘジャズ王を称します。では、このヘジャズ王国の旗は、どんな旗だったと思いますか。次のどの旗に似ていたでしょうか。

予想

- ア 赤旗
- イ アラブ統一旗
- ウ 英国旗
- エ そのほか



アラブ統一旗

■アラブ革命旗

英国外務省からアラブ軍に派遣されていたサイクス卿が、ヘジャズ王国の旗をデザインしました。それはアラブ統一旗に、赤色を三角形にして加えたもので、赤色はハシーム家を表すと共に、革命も意味していました。



この旗は、その後紋章学的に見栄えが良くなるようにと横縞の順序が入れ替えられました。

ヘジャズ王国 by *Filip Van Laenen*



ヘジャズ王国 by *Ralf Stelter*

ヘジャズ王国には憲法、議会、軍隊があり、行政機構も整備された、完全な独立国家でした。

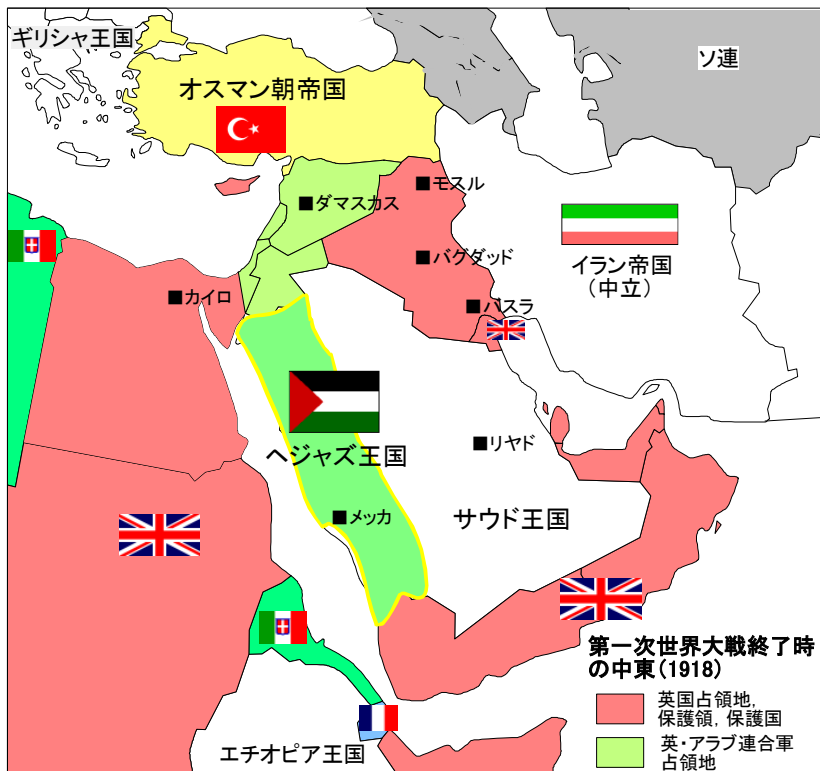
■矛盾した約束

英国はフセインに「アラブの独立」を約束しましたが、フセイン挙兵の一ヵ月前にフランス、ロシアと秘密協定（サイクス・ピコ協定）を結んでいました。それは戦後のオスマン朝帝国の分割を約したもので、それによるとシリアとイラクはそれぞれ仏領と英領になり、一部の土地はたしかにアラブ国家の建設を認められましたが、それは不毛な土地で、しかも英仏の保護下に置かれることになっていました。

また、英国は 1917 年にはパレスチナ支配のため「英国支配の

下でパレスチナをユダヤ国家にする」ことを目的としたシオニズム運動に対し「ユダヤ人がパレスチナに民族的郷土（＝national home、慎重に〈国家〉という言葉を避けている）を建設することを承認し支援する。但しパレスチナに現存するいかなる非ユダヤ社会の市民的・宗教的権利も損なわない」という「バルフォア宣言」を出していました。

そこでアラブ側は「英国の政策を開示せよ」と要求し、英国は1918年6月に「連合国の行動によってオスマン朝の支配より解放された諸地方は、英国及び連合国が住民の神聖な法律と人種の理想に一致する制度のもとに昔日の繁栄を復活して再びアラブ族の



偉大な昔に還らせる」「パレスチナにおけるユダヤ人郷土建設は、先住民の自由と矛盾しない限りにおいてである」と宣言し、アラブ側の動揺を押さえ込むのに成功しました。

フセインの子、ファイサルが指揮するアラブ軍は英軍と共同して侵攻し、10月にシリアのダマスカスに入城、オスマン朝は休戦を受け入れ、ここにアラブの土地に対するオスマン朝支配は第一次世界大戦と共に終わりを告げたのでした。

ファイサルは、シリアにアラブ軍司令部と行政府を設置しました。青年アラブ協会のメンバーも、この政府に多数参加しました。英国とフランス政府は翌月の11月に共同宣言を出し、英仏の方針が「アラブの独立を保証するものであること」を再度明確にしました。

[質問]

第一次大戦において連合国はウィルソン米大統領の平和原則（民族自決、無賠償・無併合、国連の創設など）に従って戦いました。そして、1919年1月のパリ講和会議で戦後処理の大綱が決定されました。では、アラブの独立は認められたのでしょうか。

予想

- ア 認められた
- イ 否定された
- ウ 無視された

■戦後処理

講和会議は、ウィルソンの反対にもかかわらず、戦勝国だけで開催され「敗戦国に対する欠席裁判」でした。そこでは、ウィルソンの平和原則適用について強い反対の声が上がりました。イラク北部の油田地帯モスルを確保したいフランスは「秘密協定のサイクス・ピコ協定は有効」と主張すれば、英国は出兵してモスル地方を占領してしまいました。またドイツを再起不能にしたいフランスの強い要求で、ドイツは領土の割譲とドイツの国家予算の300倍もの1320億マルクもの非現実的な賠償金を払うことが決まりました。ウィルソンは、「平和原則」全部の適用をあきらめ、「国際連盟の創設」だけに力をそそぎ、それを実現させましたが、米国は上院の反対で国際連盟には加盟しませんでした。

同じ戦勝国であったアラブについてはどうだったのでしょうか。フセインの子でアラブ軍を指揮しシリアを解放したファイサルは講和会議に出席し「国際連盟の保証の下でアラブ民族が独立自主の民族として認められること」と「英仏宣言の実行のための現地住民の意思調査」を求めました。ウィルソンはこの提案に大賛成で、シリアとイラクに調査団を派遣し、調査団は「住民の自由意志でアラブ国家の独立を願っている」と報告しました。

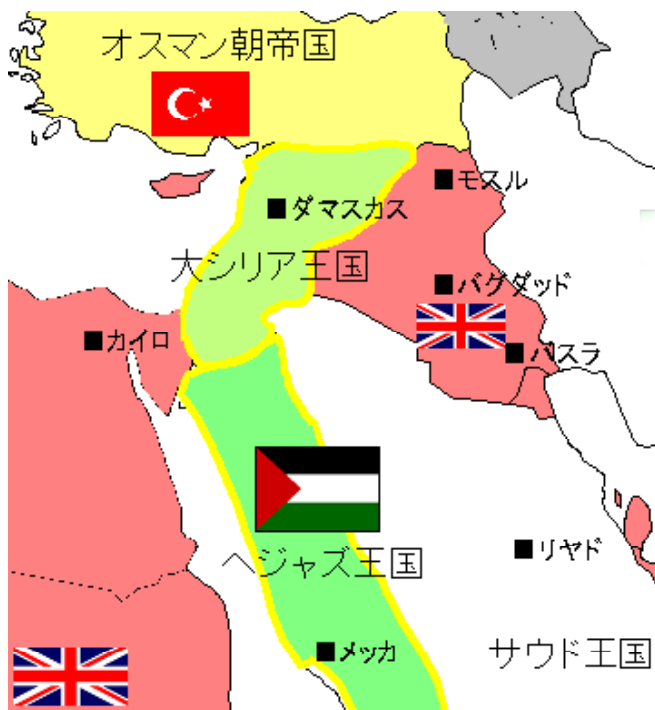
しかし、アラブ人の独立国家はいつこうに作られる気配はありませんでした。そこでしびれを切らしたアラブ人たちは、1920年3月のアラブ民族会議で「ファイサルを王とするレバノンとパレスチナを含む立憲君主国＝大シリア王国の独立」と「同様にファイサルの兄アブド・アッラーフを王とするイラク王国の独立」を決議しました。

[質問]

イラクは独立宣言しても、英軍占領下の状態で実効性の伴わないものでした。しかし、大シリアはアラブ軍の支配下にあり、フアイサル王の下で実際に独立を達成しました。では、大シリアはどんな国旗を掲げたと思いますか。次のどの旗に似ていたでしょうか。

予想

- ア アラブ革命旗 (=ヘジャズ王国旗)
- イ 赤旗
- ウ 英国旗
- エ そのほか



■ アラブ革命旗



大シリア王国

by *Jaume Ollé*

シリア王国の旗は、ヘジャズ王国旗にコーラン（の最初の 7 章）を表す 7 稜星を加えたもので、王旗は国旗の緑縞の中央に王冠が描かれていました。この旗は、大シリア王国とヘジャズ王国の一体性、つまりアラブ統一の願いがこめられていたのです。ヘジャズ王国旗は、こうして「アラブ革命の旗」として、アラブ世界に浸透していったのです。

[質問]

大シリアの独立宣言に対して英仏はどうしたと思いますか。

予想

- ア 独立を承認した
- イ 独立宣言を無視した
- ウ 武力侵攻した
- エ そのほか

■シリア分割

独立宣言の翌月、国際連盟の委嘱を受けて英仏伊は次の合意(サンレモ協定)に達します。

- ・ レバノンを含むシリアはフランスの委任統治領となり、パレスチナとイラクは英国の委任統治領となる。
- ・ パレスチナはバルフォア宣言により統治される。

「委任統治」とは「国連管理下で他国による統治を受ける」ということです。結局「独立国家樹立」を信じていたアラブ人はだまされたのでした。サンレモ協定の発表と同時にシリアやイラク各地でアラブ人による反乱が発生しましたが、有力な指導者と統一性を欠いていたため、英仏軍によって鎮圧されました。またフランスは7月サンレモ協定を理由に、英軍の撤退した大シリアに武力侵攻し、ファイサル軍を国外へ排除し、統一された反乱を防ぐためシリアを五カ国に分割してそれらの傀儡国家を通して統治しました。こうして大シリア王国は、承認する国もないままわずか4ヵ月で消え去ったのでした。

[質問]

フランスの大シリア王国への侵攻と分割統治に対して、ファイサル1世の兄のアブド・アッラーフは、ヘジャズ王国の外相を辞任し、「シリア副王」を名乗って「フランスからシリアを取り戻してファイサル1世を王位に戻す」と宣言してパレスチナで挙兵し、英国にもかつての約束（＝アラブの独立）の履行を求めました。

これに対して英国はどうしたと思いますか。

予想

- ア 軍隊を派遣し戦争になった
- イ 新しいアラブの国を作った
- ウ 賠償金を支払った
- エ そのほか



ファイサル 1 世

ファイサル 1 世は、第 1 次世界大戦(1914～18)中から戦後にかけてオスマン帝国の支配に対するアラブ人の反乱を指導した。そして、1918 年にイギリスの協力をえてシリアの首都ダマスカスをオスマン帝国から

奪回した。

Microsoft(R) Encarta(R) Reference Library 2003. (C)

1993-2002 Microsoft Corporation. All rights reserved.

■アラブ独立国家建国の約束

英国はアブド・アッラーフと戦えば、同盟国であるヘジャズ王国そしてアラブ人との全面戦争になることをよく承知していました。それではせっかく手に入れたパレスチナやイラクも失いかねません。

英国はパレスチナをヨルダン川で分割し、東岸を独立国としてバルフォア宣言から除外し、アブド・アッラーフに独立国家として与えることを約束しました。

[質問]

では英軍占領下にあったイラクを英国はどう支配したのでしょうか。英国は 1921 年 3 月イラクの今後の扱いについての基本方針を作成しました。その内容はどのようなものだったと思いますか。

予想

- ア 分割して委任統治
- イ 軍政による直接統治
- ウ 独立させる
- エ そのほか

■方針転換

英国は相次ぐアラブ人たちの反乱に対して、1920年11月「将来の独立」をちらつかせるようなイラク臨時政府を樹立して懐柔に努めましたが、これまで英国にだまされてきたアラブ人たちの信頼を得ることは、もはや不可能でした。しかも、反乱の頻発で英国の人的経済的損失は増大する一方で、英国議会は経費削減を強く求めています。そこで英国はアラブ支配に対する方針をそれまでの直接支配から「アラブ諸民族の独立を認め、同盟条約を締結する」と転換しました。こうして、イラクを「ファイサルを国王とした立憲君主国にする」ことが決定されたのでした。

[質問]

イラク王国とはどんな国だったのでしょうか。まず英占領下の臨時政府はどんな旗を掲げていたと思いますか。次のどの旗に一番似ていたでしょうか。

予想

- ア アラブ革命旗
- イ 赤旗
- ウ 英国旗
- エ そのほか



アラブ革命旗

by *Ralf Stelter*

■イラクの旗



イラク 1920—1924

by *Zeljko Heimer*

初めてのイラク国旗は、ヘジャズのアラブ革命旗と全く同じものでした。ではその国もアラブ人が自ら支配する国だったのでしょうか。たしかに閣僚はアラブ人を始めイラクに住んでいる人たちだけ（シーア派やクルド人の代表も含む）で構成されていました。しかしすべての省庁には英国人顧問がついており、臨時政府は英国の高等弁務官の下で外交・軍事以外の国政を担当するものでしかなく、実権は英国にあったのです。

ファイサルを王に迎えるに当たり、それが民主的に「国民の支持を得ている」ということを世界に示すため、民意調査が行われ「96%の国民が支持している」として、1921年8月ファイサルは正式にイラク国王（＝ファイサルI世）となりました。



イラクのティグリス川 イラクは、かつて古代文明のさかえたメソポタミア(ティグリス川とユーフラテス川にはさまれた地域)

の大半を占めている。**Microsoft(R)**

[質問]

そして英国も今度は約束を守って、英国の委任統治下で 1923 年 5 月トランス・ヨルダン首長国をアブド・アッラーフを首長として成立させました。(トランス・ヨルダンとは「ヨルダン川の東」という意味です)

それでは 1923 年成立したトランス・ヨルダン首長国はどんな旗を掲げたと思いますか。次のどの旗に似ていたでしょうか。

予想

- ア アラブ革命旗
- イ 赤旗
- ウ 英国旗
- エ そのほか



アラブ革命旗 by Ralf Stelter



アンマン市街

3500 年の歴史をもつアンマンの町では新旧の建物がいりまじり、町の景観をつくりだしている。写真中央はローマ時代の円形劇場跡。その周りを密集した家屋がとりかこみ、家屋は丘の上まで広がっている。**Microsoft(R)**

Encarta(R)

■ トランス・ヨルダンの旗



トランス・ヨルダン首長国 1921-28

by *Filip van Laenen and Santiago Dotor*

トランス・ヨルダンの旗は、アラブ革命旗でイラク臨時政府、大シリア王国、ヘジャズ王国のものと同じでした。

トランス・ヨルダンは 1928 年には英国と同盟条約を締結し、国旗も小変更しました。それは大シリア王国の国旗のように、赤の三角形の部分に七稜星を入れたもので、この旗は現在に至るまで「フセインのアラブ統一の願い」を示す国旗として使われ続けています。

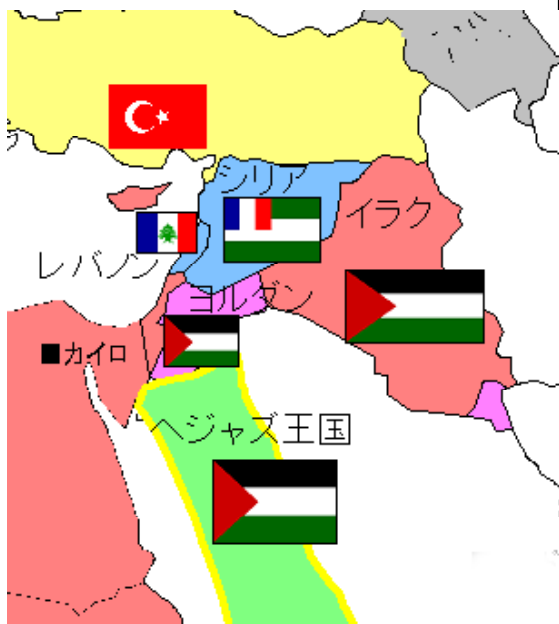


トランス・ヨルダン
首長国

トランス・ヨルダン
王国

ヨルダン・ハーシム
王国

by *Zeljko Heimer*



1923 年中東地図

■ サウジアラビア

1924 年トルコがカリフ制度を廃止して政教分離を達成したとき、ヘジャズのフセイン国王は、その血筋の正当性（ムハンマドの叔父の子孫）から「全イスラムのカリフ」を宣言しました。これに反発したサウジ王国のサウードがヘジャズに攻め込み、フセインを敗退させました。そして 1932 年ヘジャズ王国を併合してサウジアラビア王国の建国を宣言しました。



by *António Martins*

サウジアラビア王国とは「サウード家のアラビア王国」という意味です。サウード家は「緑単色の地に信仰告白の文字」という伝統的なイスラムの旗を使ってきました。1932年に建国を宣言したときに掲げられたのも、現在まで続く伝統的な旗でした。

サウジアラビアはかつて「アラブ革命」への英国の参加要請を断り、さらに英国を無視してのヘジャズ併合でしたから、英国とは対立することになり、後にサウジアラビアの石油の利権が米国のもとなる一因となりました（当時はまだサウジアラビアで石油は発見されていませんでした）。そうして米国に接近したサウジアラビアは、「イスラム聖地の守護者でありながら、非イスラム教徒（米国）軍隊を駐留させている」として他のアラブ諸国や国内の反体制派から非難されるようになっていったのでした。

サウジアラビアはイスラム教に基づく国王専制の国で、憲法や議会、政党などは一切存在しません。フセインが目標とした「アラブ独立国家」とは旗を見ても全く違っているのがわかります。

イラクとヨルダンが英国の委任統治下にある国であったから、結局「戦争後のアラブの独立」という英国の約束が履行されたのは、サウジアラビア王国とサウジアラビアとともに西欧の関心がなかったため植民地支配を受けなかったイエメン王国（北イエメン、1918 独立）だけでした。



イエメン王国（北イエメン）

by Vincent Morley

[質問]

話をイラクに戻しましょう。英国はイラクを独立させ条約によって支配する方法を選択しましたが、その条約の内容は「イラクを英国の完全支配下に置く」ものでイラクにとって受け入れがたいものでした。イラク人たちは様々な方法で抵抗しましたが、英国は無理矢理「王が病気で英高等弁務官が王の代行をする」として反英運動の弾圧に当たらせ「条約を承認しない場合は、別の取り扱いをする用意がある」との最後通牒を発して、1924 年 6 月 11 日この条約を承認させました。

国民会議は憲法と国旗を制定して解散し、イラク王国は条約による英の保護国となったのでした。

ではこのとき制定された国旗はどんな旗だったのでしょうか。次のどの旗に似ていたと思いますか。

予想

ア アラブ革命旗

イ 英国旗

ウ 現在のイラク国旗

エ そのほか



■イラク王国旗



イラク王国旗
by *Zeljko Heimer*



イラク国王旗
by *Zeljko Heimer*

イラク王国の旗は、それまでの国旗（アラブ革命旗）によく似ていて、七稜星がふたつ加えられたことが大きな違いです。このふたつの星は、かつてフセインがひとつのアラブ革命旗の元でのアラブ王国を計画したとき「ヨルダン＝パレスチナをひとつ星、イラクをふたつ星、シリアをみつつ星で表す」と考えていたことからのものです。ヨルダン国旗の星は、たしかにひとつ星です。では、シリアがみつつ星の旗を持ったことがあるのでしょうか。シリアの旗をみてみましょう。


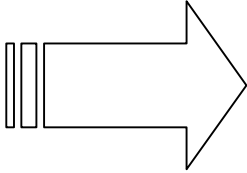







ヨルダン 1928—
by *Zeljko Heimer*

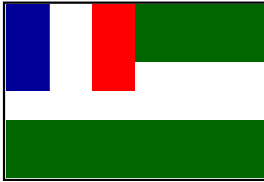
[質問]

フランスは五カ国に分割されたシリアの4カ国をまとめてシリア国とし、キリスト教徒が歴史的に支配していたレバノンを共和国として分離独立させました。レバノン共和国の実態は植民地のままでしたので、「独立」しても国旗は変わりませんでした。

ではシリア国の旗はどんな旗だったのでしょうか。

 <p>ダマスカス</p>		どんな旗に似ていた でしょうか。
 <p>アレッポ</p>		予想
 <p>アラウィー</p>		ア アラブ革命旗
 <p>ドールズ</p>		イ フランス国旗
 <p>レバノン</p>		ウ そのほか
		 <p>レバノン共和国</p>

■ シリア国の旗



シリア連邦 1922-25

シリア国 1925-32

by Santiago Dotor

シリア国の旗は、国の実態を表すようにフランス国旗が入っていましたが、大多数の国民を表すような「イスラムの緑」も入れられていました。

[質問]

シリアに於いてもアラブ人の独立の気運は高まり、1932年シリアはフランスの委任統治下で自治国となりました。ではシリア自治国の国旗を予想してみましょう。次のどの旗に似ていたと思いますか。

予想

- ア アラブ革命旗
- イ 前のシリア国旗
- ウ 赤旗
- エ そのほか



アラブ革命旗

by Filip Van Laenen

■ みっつ星の旗



シリア自治国

シリア・アラブ共和国

by Vincent Morley

シリア自治国の旗は、アラブ革命

旗のデザイン（基本は 1914 年のアラブ統一運動旗＝右図）に 3 つの星を置いたものでした。この 3 つの星は、ヘジャズのアブドゥルマフドフが考えたシリアでの「アラブ王国」を表していたのかも知れません。



シリアは 1946 年フランスの委任統治領よりシリア・アラブ共和国として独立を果たしますが、国旗は変更しませんでした。

[質問]

イラクでの反英運動はひとときも収まることなく、そのたびに英国は条約を改定しましたが、その実質（英国支配）は少しも変わることがありませんでした。しかし 1929 年英国は労働党内閣となり「1932 年のイラクの国際連盟加入を支持する」と約束しました。では 1932 年にイラク王国は独立国として国際連盟に加盟できたと思いますか。

予想

- ア 加盟できた
- イ 英国は支持しなかった
- ウ 英国は支持したが国際連盟が認めなかった

■イラク独立？

こんどは英国もその約束を果たしました。国連は「イラクの財政に於いても軍事力に於いてもイラクを独立国として加盟させるのは無理」と難色を示しましたが、英国の強力な支持で 1932 年イラクは英国の委任統治を離れ独立国として国連に加入しました。しかし、その後も英国は経済と軍事面でイラクへの強力な影響力を行使し続けました。

1941 年に第二次世界大戦が始まったとき、英軍は石油確保のためバスラに上陸。これに反発したイラク軍部はクーデターで反英政権を誕生させました。英国はすぐさま軍事介入を行い、イラクを再び英国軍の制圧下に置き、親英政権を樹立させました。完全なイラクの独立はまだまだ後のことだったのです。

[質問]

オスマン朝の中でも独立国のようにふるまっていたエジプトは、1876 年に財政破綻し列強の管理下に入りました。それに反発した反乱が発生したとき、英国は武力介入しエジプト全土を占領し、1914 年エジプト王国として英国の保護国にしました。

このときの王国旗は次のどの旗に似ていたと思いますか。

予想

- ア アラブ革命旗
- イ オスマン朝帝国旗
- ウ 英国旗
- エ そのほか



アラブ革命旗

by Ralf Stelter

■ オスマン朝への忠誠



エジプト王国（英保護下）1914–22

by Zeljko Heimer

英の傀儡国家であったエジプト王国の旗は、オスマン朝の旗によく似ていました。月と星が3つずつあるのは、「イスラム教徒、キリスト教徒、ユダヤ教徒の共存」を表していたからです。エジプトはこの旗の下でほかのアラブ人と同様に「戦後の独立」を信じて第一次世界大戦を戦ったのです。

しかし戦後になっても英国支配は弱まることになかったため、1919年に大規模な反乱が発生しました。そのとき革命軍が掲げた旗は、



図(*1)のように緑地か赤地に三日月と十字を描いたもので、キリスト教徒とも共存を願っていたことがよくわかります。



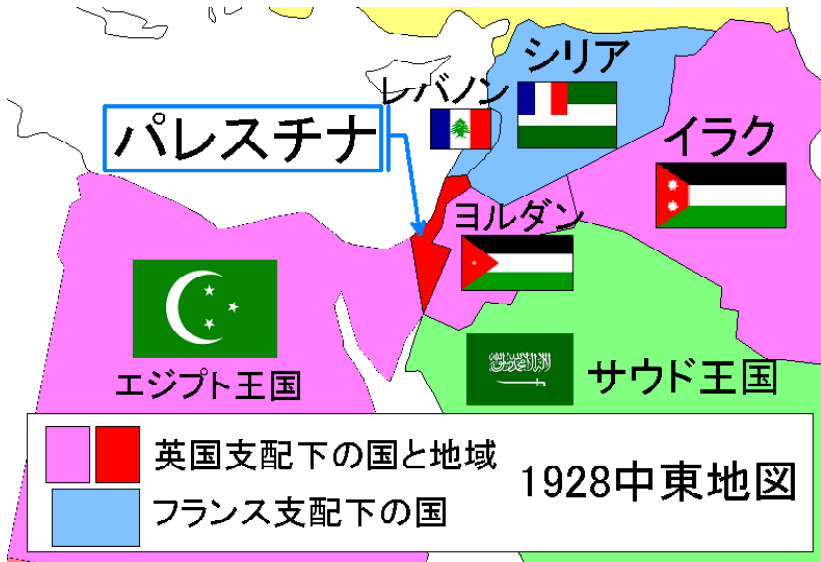
1922年ついに英国はエジプトに独立を認め、新しい国旗が制定されました。

エジプト王国 1922–52

By Zeljko Heimer

新しい国旗に描かれていた3つの星は「イスラム教徒とキリスト教徒、ユダヤ教徒の平和共存の願い」を象徴していました。しかし独立したとはいえ、エジプトには英国軍隊が常駐し、その政権は傀儡でしかありませんでした。エジプトが真に独立を達成するのもまだ後のことだったのです。

■パレスチナ



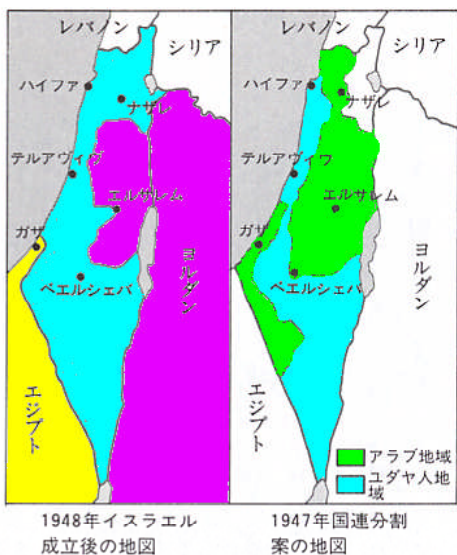
同じ頃パレスチナでは、1917年の英国の「パレスチナの地にユダヤ人の民族的郷土建設を認める」というバルフォア宣言により、10万人のユダヤ人がパレスチナに入植していました。

「国のない民へ、民のない国を」ということでしたが、ユダヤ教徒の入植が始まる前のパレスチナには、オスマン朝の支配のもと50万人以上のアラブ人と2万人ほどのユダヤ人が住んでいました。正確に言うなら、そこに住んでいたのは「ユダヤ人」ではなく、アラブに同化したユダヤ教徒でした。なぜなら、ユダヤ人というのはアラブ人と同じく人種概念ではないからです。パレスチナ問題はけっして「宗教戦争」でも「民族戦争」でもないのです。

英国は1947年パレスチナ問題解決を国連に委ね、「ナチスによるユダヤ人迫害」に同情的な国連は、ユダヤ人に土地の多くを割

り当てる不平等な「パレスチナをユダヤ人国家とアラブ人国家に分割し、エルサレム（とベツレヘム）は国際管理地とする」案を可決しました。

ヨーロッパでのユダヤ教徒迫害はアラブ人には何の責任もありませんでした。それなのにアラブ人の犠牲によってその問題を解決しようとするような不平等な分割はアラブ側には到底認められないもので、12月アラブ連盟は「ジハード（聖戦）」の遂行を訴えました。英国の委任統治終了と共にイスラエルは建国を宣言、そしてアラブ諸国（エジプト、シリア、ヨルダン、レバノン、イラク）は「パレスチナのアラブ人を救う」と宣戦布告してイスラエル建国阻止の武力行使に出ました。これが第一次中東戦争です。



戦争が終わるとパレスチナには、アラブ人国家はどこにもありませんでした。（図*6）トランス・ヨルダンは、占領したヨルダン川西岸地区を自国に併合し、ヨルダン・ハーシム王国と国名を変更しました。「トランス・ヨルダン」が「ヨルダン川東岸」の意味だったからです。

またエジプトが占領したガザ地区も、エジプトが支配したままでした。つまりパレスチナは、イスラエルとエジプト、ヨルダンに分割されてしまい、そのどこにもパレスチナのアラブ人たちが

求めていた独立国家は存在しなかったのです。

こうして難民になった 100 万人以上のアラブ人たちは、「国のない民」として「パレスチナへの復帰を願うアラブ人」＝「パレスチナ人」となったのです。その後国連の難民帰国の決議にもイスラエルは従わず、帰国しようとする難民には容赦なく銃弾を浴びせました。

[質問]

イスラム教徒にとって聖戦は「神の加護」があり負けるはずのないものでした。そこでアラブ人は敗戦の原因を自分たち＝「指導者の腐敗」と考えました。その結果、ヨルダンでは王が暗殺され、エジプトでは革命で国王を追放して 1953 年エジプト共和国が誕生しました。

では、エジプトが採用した新しい国旗はどのようなものだったのでしょうか。次のどの旗に似ていたのでしょうか。

予想

- ア アラブ革命旗
- イ 現エジプト国旗
- ウ シリア自治国旗
- エ そのほか



アラブ革命旗



現エジプト国旗



シリア自治国

■ アラブ解放旗



by Ahmed S. Kamel

新しい国旗は三色旗
で現在の国旗に似て
います。この三色旗



は「アラブ解放旗」(右図)と呼ばれるもので、エジプトの王政を倒した若き士官たちが、共和制の国の三色旗を参考にして作ったものです。この旗は「弾圧の時代(黒)、血を流した戦いでの勝利(赤)、明るい未来(白)」を象徴するとされています。中央の紋章は、十字軍と戦ったイスラムの英雄であるシャラディンを象徴する鷲です。

共和国の新しいリーダーのナーセルは「非同盟中立(東西両陣営ともに与しない)」「アラブの統一」を主張し、1954年に英国軍をエジプトから完全に撤退させ、1956年にはスエズ運河を国有化する宣言を行いました。これに対して運河に権益を有する英国とフランスはイスラエルと共同して10月エジプトに侵攻し第2次中東戦争が始まりました。

戦争は軍事的には負けでしたが、エジプトは米ソと国際世論を味方につけ政治的には勝利したのです。これはアラブ諸国にとって初めての西欧に対する勝利でした。アラブ大衆は熱狂してナーセルを支持し、「ナーセルの指導のもとでのアラブ統一」の願いを強めました。

そしてアラブ統一の初めとして1958年エジプトとシリアはアラブ連合共和国として一つの国となりました。

シリアとエジプトで構成するアラブ連合共和国は、どんな旗を掲げていたのでしょうか。次のどの旗に似ていたのでしょうか。

予想

ア 現エジプト国旗

イ 現シリア国旗

ウ アラブ革命旗

エ 当時のシリア国旗



アラブ革命旗



当時のシリア国旗



今のエジプト国旗 by *Zeljko Heimer*

今のシリア国旗 by *Zeljko Heimer*

■ アラブ連合共和国の旗



アラブ連合共和国の旗（左図 by *Zeljko Heimer*）は、アラブ解放旗に星をふたつ加えたもので、今のシリア共和国の旗と全く同じです。この旗にあるふたつの星はエジプトとシリアを表しています。

[質問]

アラブ統一の動きはエジプトとシリアだけではありませんでした。アラブ連合共和国成立の2週間後、イラクとヨルダンがアラブ連邦を作って統合したのです。ではアラブ連邦の旗は、次のどの旗に似ていたと思いますか。

予想

- ア アラブ連合共和国旗
- イ 当時のイラク王国旗（右上）
- ウ 当時のヨルダン王国旗（右下）
- エ そのほか



■アラブ連邦



イラクとヨルダンが統合したアラブ連邦の旗は、当時のイラクとヨルダン国旗のルーツであるアラブ解放旗そのままでした。ふたつの国はもともと王がハーシム家の兄弟だったのですから、これも不思議ではありません。

しかし、エジプトとシリアのアラブ連合の旗とは違うことが、4国でより大きなアラブ連合を作れなかったことをよく表しています。イラクやヨルダンは王国であったため、エジプトのナーセル大統領のアラブ民族主義とは異なる境遇にあり、またアラブ連邦成立は、アイゼンハワー・ドクトリン（中東の親米政権に経済・軍事援助を与えて社会主義思想の中東への拡大を牽制する基本外交政策）による中東における反共路線が目的の一つだったからです。イラクは英米の指導のもと、1955年から反共軍事同盟である中東条約機構（イラク、トルコ、英国、パキスタン、イランとオブザーバーとして米国）を結成していました。



アイゼンハワー大統領(右端)
左端はニクソン副大統領

国内政策では公民権運動を推進し、黒人の入学を拒否して暴動を起こしたリトルロックに連邦軍を派遣した。

[質問]

欧米に支配されたままのアラブ連邦に対して、アラブ連合共和国はラジオを通じて連邦国民に政府打倒の蜂起を呼びかけました。その結果 7 月にイラクで王制打倒のクーデターが起こり、アラブ連邦は成立より半年で解消となりました。

ではイラク共和国はどんな国旗を採用したと思いますか。次のどの旗に似ていたでしょうか。

予想

- ア アラブ連邦旗
- イ アラブ解放旗
- ウ イラク王国旗
- エ そのほか



アラブ連邦旗



アラブ解放旗



イラク王国旗

■イラク共和国旗



by *Mark Sensen*

イラク共和国の旗は、アラブの国旗には珍しい縦三色旗でした。アラブ民族主義のナーセルのアラブ連合共和国に影響されたクーデターでしたが、国旗は「アラブ解放旗」よりも「アラブ革命旗」に似ていました。

あなたはこの新政権がどんな政策を持っていたか予想できますか。国章(右図 by *Juan Manuel Gabin Villascan*)を見ると、歯車と麦が描かれていて、社会主義政権だったことがわかります。イラクは対ソの中東条約機構から脱退してソ連に接近したのでした。



新国旗もやはり「赤・黒・白・緑」の汎アラブ色を使っていますが、黄色の円盤が加えられています。これは十字軍と戦いエルサレムを奪還した英明・寛容な君主として知られるイスラムの英雄



Encarta Encyclopedia, SEF/Art Resource, NY

サラディン(左絵, 1138-93)の金紋章を表しています。赤の8つの光線は、アラブ8カ国(イラク, ヨルダン, シリア, レバノン, エジプト, サウジアラビア, イエメン, パレスチナ)の統一の願いを表していました。

[質問]

イラクの新国旗に「アラブ統一の願い」として記された 8 カ国 (パレスチナ含む) は、当時本当に 8 カ国によるアラブ統一を願っていたと思いますか。それとも、それはイラクの独りよがりの願いだったのでしょうか。

予想

- ア 実際に 8 カ国は統一へ向けての行動を起こしていた
- イ 一部の国だけが統一を主張していただけ
- ウ イラクの独りよがりな主張だった

独立形	名称	音 訳	独立形	名称	音 訳	独立形	名称	音 訳
ا	[alif]	ā, a, i, u	ز	[zāy]	z	ق	[qāf]	q
ب	[bā]	b	س	[sīn]	s	ك	[kāf]	k
ت	[tā]	t	ش	[shīn]	sh	ل	[lām]	l
ث	[thā]	th	ص	[ṣād]	s	م	[mīm]	m
ج	[jīm]	j	ض	[ḍād]	ḍ	ن	[nūn]	n
ح	[hā]	h	ط	[ṭā]	ṭ	ه	[hā]	h
خ	[khā]	kh	ظ	[ẓā]	ẓ	و	[wāw]	w(ū,au)
د	[dāl]	d	ع	[‘ain]	‘	ي	[yā]	y(ī,ai)
ذ	[ḍhāl]	ḍh	غ	[ghain]	gh	ء	[hamza]	’
ر	[rā]	r	ف	[fā]	f			

アラビア語のアルファベット

アラビア語のアルファベットはハムザをふくめて 29 文字からなり、右から左にむかって書かれる。文字は上の表にしめしてある独立形(文字の基本形)のほか、基本形の変形である頭字、中字、尾字などの結合形がある。なお大文字と小文字、活字体と筆記体の区別はない。Microsoft(R) Encarta(R)

■ アラブ連盟



第二次世界大戦が始まったとき、英国はアラブ諸国を味方につけるため「戦後のアラブ統一を支持する」という声明を出しました。そこで、すでに独立を達成していたり、独立の見込みにあったアラブ諸国はアラブ統一への構想を打ち出しました。ハーシム家による王国同士のイラクとヨルダンが「大シリア（シリア、パレスチナ、ヨルダン、レバノン）とイラクの統合による各国の主権を残したままでの連合王国」を構想し、シリアは「共和制による大シリアの統一国家」を目指していました。

これに対し、レバノンとサウジアラビアは統合に強く反対しました。なぜならレバノンではキリスト教徒が優勢でしたし、これまで独自路線を歩んできたサウジアラビアは統合による自国の地位低下を恐れたからです。

この分裂をまとめたのがエジプトでした。エジプトは「連邦制をとることなく、各国の独立が損なわれない緊密な協力関係を築く」と提案して「アラブ連盟」が1945年に設立されたのでした。このアラブ連盟の当初加盟国が、1958年のイラク共和国旗に表されている「7カ国とパレスチナ」だったのでした。

エジプト革命はイラクだけでなく、アラブ諸国に波及していきました。1962年のイエメン王国（北イエメン）と1969年のリビア王国で起こった王制打倒の革命も、エジプト革命の流れをくむものでした。また多くのアラブ諸国が西欧の支配から独立を勝ち取っていきました。

イエメン王国の国旗はオスマン朝の流れをくむ赤旗で、リビア

王国の国旗は、汎アラブ色にオスマン朝のシンボルを入れたものでした。では、これらの国旗は共和制革命によってどう変わったと思いますか。



イエメン王国（北イエメン）

by *Vincent Morley*



リビア王国

by *Vincent Morley*



イエメン・アラブ共和国（北イエメン）

by *Zeljko Heimer*



リビア共和国(*1)

エジプト革命の影響を受けた新しい共和国の旗は、イエメンもリビアもアラブ解放旗でした。特にイエメンの国旗はシリアとエジプトからなるアラブ連合共和国の国旗（右図 by *Zeljko Heimer*）とそっくりでした。実はイエメンは 1961 年までアラブ連合共和国と連邦を組み、「アラブ連合共和国（UAS）」を形成していたので国旗も似ているのです。



しかし北イエメンは外国の植民地になることのなかったイスラム王国で、その伝統的王制が打破されたことは、王制のアラブ諸国に波紋を投げかけました。サウジアラビア王国とヨルダン王国

は王党派を支持して軍事介入を行い，北イエメンはエジプトの支持する共和制派との長い内戦へと陥っていったのでした。

この事件は自国中心での性急なアラブ統一国家を目指すエジプトに対するアラブ諸国の支持を失わせるものでした。シリアでは1961年9月ナーセルの社会主義政策に反発してクーデターが起こり，新政権はシリアのアラブ連合共和国からの離脱と再独立を宣言し国旗も元に戻しました。しかしエジプトは，シリア脱退後も1国だけでアラブ連合共和国の国名と国旗を使い続けました。

[質問]

エジプト革命によるアラブ民族主義は，西欧の支配下にあった北アフリカのアラブ諸国の多くを独立へと向かわせました。英国支配からスーダン（1956），ソマリア（1960）が，フランス支配からチュニジアとモロッコ（1956），モーリタニア（1960），アルジェリア（1962）がそれぞれ独立しました。

それではこれらの独立国の旗の多くはアラブ革命旗やアラブ解放旗に似ていたと思いませんか。

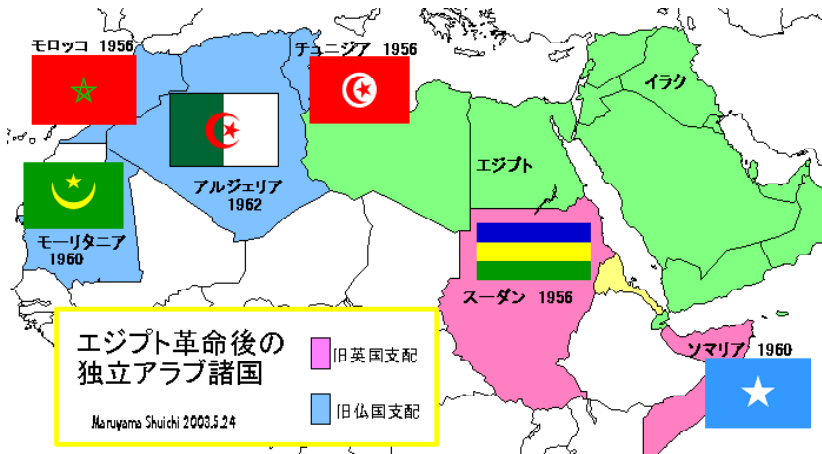
予想

- ア 多くの旗がアラブ革命旗に似ていた
- イ 多くの旗がアラブ解放旗に似ていた
- ウ 特にそういうことはなかった



アラブ解放旗
by *Santiago Dotor*

■ アラブ民族主義？



独立した北アフリカのアラブ諸国の旗には、アラブ革命旗に似た旗やアラブ解放旗に似た旗はひとつもありませんでした。同じアラブ諸国といっても、その気持ちの度合いには違いがあることが国旗を見るとよくわかります。

アフリカ北西部のモーリタニア、モロッコ、アルジェリア、チュニジアの国旗は、オスマン朝の影響がある国旗を制定しました。これらの国を「マグリブ諸国」といい、歴史的につながりがあることを覚えておいてください（マグリブとはアラビア語で「西方」という意味）。ソマリアは独立に際しての国連の援助に感謝して、国連旗に似た国旗を制定し、スーダンは汎アフリカ色のような国旗でした。

[質問]

イラク革命がクウェートに波及することを恐れた英国は、1961年6月クウェートを英国保護下から独立させました。それに対し、かねてから「クウェートはイラクの一部である」と主張していたイラクは、クウェート国境へと兵を進めました。これに対してクウェートは「クウェートはアラビア半島のナジュド地方より移住したアラブ人（サウジアラビアとルーツは同じ）が作った国であり、一度もイラクの領土になったことはない」と主張しました。

では、独立したクウェートはどんな国旗を制定したと思いますか。次のどの旗に似ていたでしょうか。

予想

- ア オスマン朝帝国旗
- イ サウジアラビア国旗
- ウ アラブ革命旗
- エ アラブ解放旗
- ウ そのほか



サウジアラビア
by António Martins



オスマン帝国
by António Martins



アラブ解放旗
by Santiago Dotor



アラブ革命旗
by Ralf Stelzer

■クウェートの旗

クウェートの国旗は汎アラブ色を使って、かつてのイラク王国旗と当時のイラン帝国旗を合わせたようなデザインのもので、現在に至るまで使われています。



クウェート国
by *Zeljko Heimer*



イラン帝国
by *Zeljko Heimer*



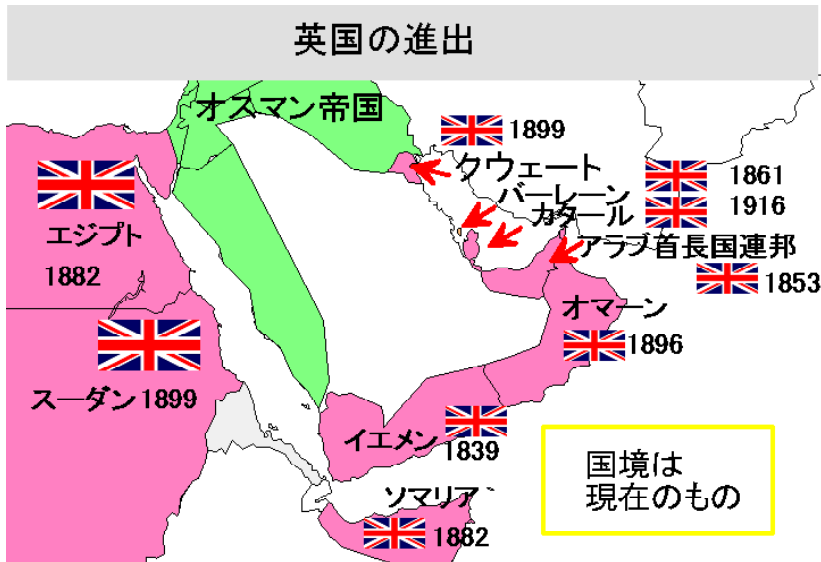
イラク王国
by *Zeljko Heimer*

このクウェートの旗が意味するものは何でしょうか。イスラム教シーア派の国イランの旗に似ているのは、クウェート国内にシーア派が多い（3～4割）のためかもしれません。でも全体的なデザインは、イラク王国をまねたもので、英国の保護国から独立したクウェートがどの国を模範としていたのかがよくわかります。

クウェートは、オスマン朝支配の下で「実質的に独立していた」といいますが、オスマン朝帝国の東端にある小国にオスマン朝が強い関心を持つことはなく、同じイスラム教徒として自治させていたことは、オスマン朝のふつうの支配方式でした。

[質問]

第一次世界大戦の始まる前、英国はペルシヤ湾岸のアラブ諸国と条約を交わし、次々と保護下に収めていっていました。そして1899年には、オスマン朝の直接支配を恐れるクウェートの首長と保護条約を結びます。ここにクウェートのオスマン朝からの分離が始まりました。



ではそのときクウェートはどんな旗を掲げたと思いますか。次のどの旗に似ていたでしょうか。

予想

- ア オスマン帝国旗
- イ 英国旗
- ウ 現在のクウェート国旗



オスマン帝国
by António Martins

■主権はオスマン朝にあり



by *Jaume Ollé*

クウェートが制定した旗は、オスマン朝の旗に「クウェート」と文字を入れた赤旗でした（この旗はアラビア文字が入っているため旗竿は右側となる）。

1909年には、さらに「オスマン朝の一部である」ことを明確にした旗（右 by *Jaume Ollé*）を採用しました。



クウェートが英国の保護下に入った問題でオスマン朝と英国は1913年に「クウェートの主権はオスマン朝にあるが、オスマン朝はクウェート内政には干渉しない」と合意に達しています。

[質問]

第一次世界大戦の始まりとともに、英国はオスマン朝に宣戦布告するとともに、クウェートをオスマン朝から分離させました。このときクウェートが掲げた旗はどんな旗だったのでしょうか。次のどの旗に似ていたと思いますか。

予想

- ア 英国旗
- イ それまでの国旗
- ウ 現在の国旗
- エ そのほか



現在の国旗

by *Zeljko Heimer*

■クウェート独立とイラクの侵攻



クウェート 1915—56

by *Jaume Ollé*

オスマン朝から分離したクウェートの旗は、それまでの旗からオスマン朝のシンボルである「月と星」を除いたものでした。その後 1956 年にも国旗を変更（右図*7）しましたが、同じようなデザインでした。



第一次世界大戦で英国は現在のイラクの大部分を占領し、イラク王国として独立させましたが、そのときクウェートは英国との条約により、保護国として残されました。それは「イラク強国にたくない」という英国の政策からでした。しかし、英国の委任統治から独立した後イラクは「クウェートはイラクの不可分な一部である」と発言し、エジプト革命によるアラブ民族主義の盛り上がりでクウェートを失うことを恐れた英国は、クウェートを王国として 1961 年に湾岸諸国の先頭を切って独立させたのでした。

「英国の統治が終わればクウェートはイラクの一部になる」と思っていたイラクは武力による併合を目指して、クウェートに侵攻し、英国も軍隊を派遣してイラク軍の侵入を阻止しました。クウェート独立と同時にアラブ連盟加盟を認めた連盟は、英国軍の撤退を要求し、その代わりに連盟軍を派遣したので、イラク軍も撤退しました。

[質問]

1963 年イラクの民族主義軍人とバース党は協力してクーデターを起こしました。同時期エジプトとの連合から離脱したシリアでもバース党によるクーデターが起こり、両国の国旗は同じデザインのものとなりました。

ではその国旗は次のどの旗に似ていたと思いますか。

予想

- ア アラブ連邦旗
- イ アラブ連合共和国旗
- ウ イラク共和国旗
- エ そのほか



アラブ連邦（かつてのイラクとヨルダン）
by *Zeljko Heimer*



アラブ連合共和国
（シリア脱退してエジプト単独）
by *Zeljko Heimer*



イラク共和国旗
by *Mark Sensen*

■ バース党



シリア 1963
イラク 1963
by *Mark Sensen*



新しいイラクとシリアの旗は、アラブ連合共和国の旗に星をひとつ増やしたただけのものでした。つまり連合共和国がふたつの星で「シリアとエジプトの統合」を表していたのに対して、この3つ星の旗は、「シリアとイラクだけでなくエジプトとの統合」も目的とした旗だったのです。また国章（右図）には「アラブ国家連盟」と書かれていました。

バース党とは正式名称を「アラブ復興社会党」といい「アラブ世界に住む人たちは、シオニズムと帝国主義と戦い、ひとつの民族国家として統一されなければならない。その前提が社会主義である」というバース主義を党是とする政党で、ナーセルよりもさらに急進的なアラブ民族主義を掲げていました。

[質問]

新しいシリアとイラクの国旗には「エジプトを表す星」も入っていました。では当時2つ星の国旗を使っていたエジプトもこの3つ星の国旗に変更したと思いますか。

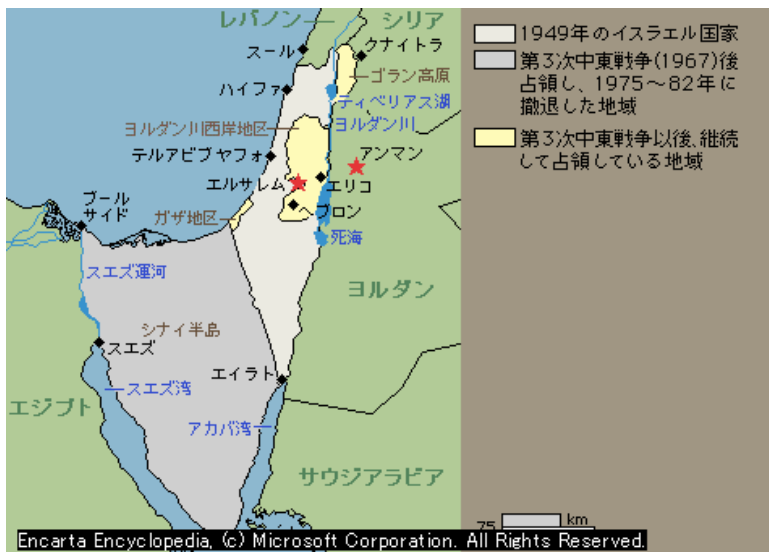
予想

- ア 3つ星の国旗に変更した
- イ 2つ星のままだった
- ウ 全く違う国旗に変更した

■第三次中東戦争

イラクとシリアが3つ星の国旗を採用しても、エジプトはバース党との連立を嫌って、アラブ連合共和国の名称と2つ星の旗を使い続けました。しかし、アラブ諸国は「反イスラエル」ではいつも団結していました。シリアのバース党政権はパレスチナ・ゲリラを支援し、イスラエルとの緊張が高まったとき、エジプトはアラブ諸国のリーダーとして、ヨルダンと軍事同盟を結び、イスラエル包囲網を完成させました。アラブ諸国は1967年5月イスラエル国境に兵士150万人以上、装甲車3000両、航空機1000機の大兵力を集結させました。

1967年6月5日早朝、先制攻撃を決意したイスラエルはエジプト、ヨルダン、シリアの空軍基地を奇襲し、午前中にはアラブ側の航空戦力を壊滅させ、空軍の支援を欠いたアラブ軍に対し一方的で圧倒的な勝利を収めました。国連安保理は停戦決議を採択、各国とも決議を受諾し、第三次中東戦争は終わりました。



この戦争でもイラクは軍隊をヨルダンに派兵し、西側へ通じる石油のパイプラインを停止したりしました。

戦争の結果、エジプトはシナイ半島を、シリアはゴラン高原を、ヨルダン川西岸をそれぞれ失い、イスラエルはガザ地区も占領し、ヨルダン川西岸を併合しました。そして新たに 100 万人ものパレスチナ難民がアラブ諸国へ向かうことになったのです。

この屈辱的な大敗北に対するアラブ諸国の衝撃は大きく、ナーセル大統領は辞任を表明し、アラブ民族主義も暗礁に乗り上げました。

[質問]

中東の石油は、その開発から長い間欧米の国際石油資本（メジャー）に握られてきました。そして石油以外の資源に乏しい中東産油国は僅かな利権料しか得られず貧困にあえいでいました。

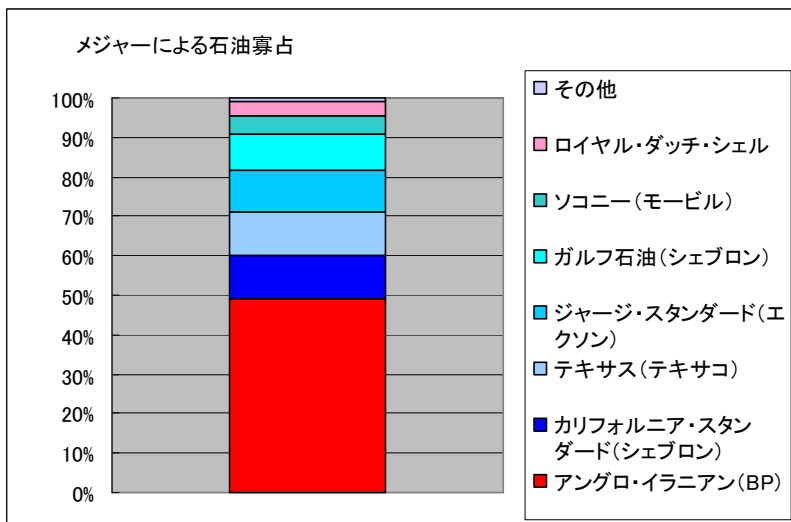
産油国は自国の利益を守るために石油輸出国機構（OPEC）を結成しますが、OPEC 結成前、中東原油のどれぐらいをメジャーが支配していたと思いますか。

予想

- ア 90%以上
- イ 70%ぐらい
- ウ 50%ぐらい
- エ そのほか

■資源ナショナリズム

メジャーは原油生産量でソ連・東欧を除く世界全体の55%を支配していましたが、中東ではその99%を支配していました。1951年イランが石油資産国有化を断行しましたが、利権を求めて米国が介入し、国有化を阻止し石油支配に参加しました。



「1949年中東原油生産量におけるメジャーの割合」

(* 5より作成)

()内は現在の会社名。赤色は英国系(シェルは英国とオランダ), 青系色は米国系メジャー。

1958年メジャーは石油の供給過剰から価格を引き下げ、ますます産油国の利益は減少しました。産油国は結束してメジャーに対抗すべく、1960年イラクが呼びかけて、サウジアラビア、イラン、クウェート、ベネズエラの5大産油国が石油輸出国機構(OPEC)

を結成しました。これはアラブ民族主義（アラブ・ナショナリズム）とも連動した、資源ナショナリズム（「天然資源について資源保有国が恒久的権利を持つ」とする考え）でした。

■ OPEC の旗



石油輸出国機構

by *Sean McKinniss*

OPEC の旗は、国連旗と同じデザイン
の旗で、そこにはアラブ民族主義の影響を見ることはできません(英文字で OPEC)。また OPEC の本部が加盟国ではなく、赤十字の本部があり、国際連盟の本部があったスイスのジュネーブに作られたことも、国際機関としての性格をよく表しています（本部は 1965 年にオーストリアのウィーンへ移転）。

OPEC 成立の 2 年後、国際連合において「天然資源に対する恒久主権の権利宣言」がなされ、産油国の権利が原則的に確認されました。

OPEC のアラブ産油国（サウジアラビア、クウェート、イラク、カタール、リビア）は 1967 年の第三次中東戦争に際して、「イスラエル支持国（英米独）への石油禁輸と減産」を打ち出しました。

しかし、アラブ産油国の計画は、OPEC 非アラブ産油国（イラン、ベネズエラ、インドネシア）の石油増産と英米独への輸出で失敗に終わりました。OPEC は産油国の利益を目的とした組織であり、また決議には全会一致が要求されていますから、全体とし

てこのような行動は取れなかったのです。

この反省からアラブ産油国は翌年の1月、たんに石油利益だけでなくヨーロッパ連合 (EU) のような共通の経済基盤を築くために、アラブ石油輸出国機構 (OAPEC) がサウジアラビアとクウェート、リビアで作られました (本部はクウェート)。



OAPEC のシンボル (*12) は、中央の薄い青の部分の模様がなんとなく国連のシンボルに似ていますが、OPEC 旗とはずいぶん印象が異なります。

OAPEC 加盟国は OPEC 非加盟国であっても OPEC 決議には従わなくてはならず、あくまで OPEC 内部の地域組織となっています。しかし、OAPEC にはアラブ首長国連邦、バーレーン、カタール、アルジェリア、イラク、チュニジアなどのアラブ産油国だけでなく、非産油国のエジプトやシリアも加盟しており、きわめて政治的な組織です。

さて、第三次中東戦争の完全な敗戦を受けてナーセルは安保理 242 号決議を受諾して交渉による解決を目指しましたが、イスラエルの不履行により、問題は解決されませんでした。イスラエルは、「これでアラブは武力抵抗を諦め、平和交渉を始めるしかないだろう」と考えました。では現地のパレスチナの人たちはどうしたと思いますか。

■PLO (Palestine Liberation Organization)

パレスチナのアラブ住民は、イスラエルの建国以来ずっと国連やアラブ諸国が不正を正してくれることを期待していました。しかし国連もアラブ軍もイスラエルに対しては非力で当てにならず、自らゲリラとして武装闘争に立ち上がるしかありませんでした。このパレスチナゲリラを統括して 1964 年アラブ連盟によって結成されたのが PLO＝パレスチナ解放機構です。PLO は独立国家建設をめざすパレスチナ人を代表する組織で、国家組織をもっていました。その実態はナーセルがパレスチナゲリラを管理下におくべく作った組織で、独立性のないものでした。

パレスチナゲリラの最大組織ファタハを率いるアラファートは、PLO に合流して「パレスチナ解放のためにはゲリラ組織は不必要で有害」とするナーセルの指揮下に入る気は全くなく、個別にイスラエルに対する武力攻撃を続けていました。アラファートは「ゲリラ攻撃によりイスラエル対アラブの全面戦争を引き起こして、パレスチナ問題を解決する」という考えだったのです。そして彼の期待通りに第三次中東戦争が起りましたが、彼の予想に反してアラブ軍はイスラエル軍に完敗してしまっただけです。



アラファート

PLO(パレスチナ解放機構)の議長アラファートは、パレスチナ国家の樹立をめざしてたたかっていた。

Microsoft(R) Encarta(R)
Reference Library 2003.

そしてイスラエルは安保理 242 号決議（占領地の返還）を無視して、一方的に併合したヨルダン川西岸地区のパレスチナ人を武力やテロにより排除して、そこにユダヤ人入植地を建設してしていました。これに対してアラファートは、敗戦後もアラブの中で唯一戦闘を継続（ゲリラ攻撃）してしていました。ファタハは 1968 年 3 月にはヨルダンにある拠点へのイスラエル軍の越境攻撃をヨルダン軍の協力を得て撃退しました。これはイスラエルにとって建国以来初めての軍事的敗退で、アラファートは一躍アラブの英雄となり、翌年には PLO の最高指導者である執行委員会議長に選出されました。

[質問]

PLO は {イスラエル支配下にあるパレスチナを解放し、独立国家を建設する} のが目的でした。では PLO はどんな旗を掲げていたと思いますか。次のどの旗に似ていたでしょうか。

予想

- ア アラブ革命旗
- イ アラブ解放旗
- ウ そのほか



アラブ解放旗
by *Santiago Dotor*



アラブ革命旗
by *Filip Van Laenen*

■パレスチナの旗



by *Santiago Dotor*

1964-

PLO が掲げた旗は、アラブ革命旗と同じものでした。もともとパレスチナの地は英国がアラブ革命の見返りとして「戦争後にアラブ人国家を作る」と約束したところであり、パレスチナを分割して英国が作ったヨルダンも同じ国旗（ヨルダン国旗には星が入っている）を掲げています。

PLO はその目的を「ユダヤ教徒、キリスト教徒、イスラム教徒が協調して生活できるような民主的パレスチナ国家を建設すること」としています。しかし 1968 年に改めて制定されたパレスチナ国民憲章には、パレスチナ国家建設のために、「武装闘争はパレスチナ解放の唯一の道」（第 9 条）などとしてイスラエルを武力によって破壊することが明記されていました。

[質問]

第一次世界大戦前よりずっとペルシャ湾岸のアラビア諸国を支配下に置いてきた英国は、イラク革命がクウェートに波及することを恐れて、1961 年クウェートを王制のままいち早く独立させましたのは、以前に見たとおりです。しかし英国はクウェート以外のアラブ諸国については依然支配下に置いたままでした。

ところが 1967 年南イエメン（南アラビア連邦）で反英闘争の最大勢力が王制を倒して政権を奪取し、英軍を撤退させて南イエメン人民共和国として独立を達成しました。ではその国旗は、次

のどの旗に似ていたでしょうか。

予想

ア アラブ解放旗

イ アラブ革命旗

ウ それまでの国旗

エ そのほか



アラブ解放旗

by *Santiago Dotor*



アラブ革命旗

by *Ralf Stelter*



南アラビア連邦

by *Martin Grieve*

■ イエメンの旗



南イエメン人民共和国
 イエメン人民民主共和国
 by *Zeljko Heimer*

南イエメン人民共和国の国旗は、アラブ解放旗に革命旗をミックスさせたデザインで、社会主義を表す赤い星がついていました（1970年に国名を人民民主共和国に変更）。この国旗は、1962年に革命により王制を廃して、共和国となったイエメン・アラブ共和国（北イエメン）の国旗（右



by *Zeljko Heimer*) とよく似ています。両国は1990年平和的に統合してイエメン共和国となりました。新しい国旗からは星がなくなり、アラブ解放旗そのままになったのです。
 イエメン共和国 1990— by *Zeljko Heimer*



1967年の
アラビア半島

[質問]

イエメンを失い、経済的にも植民地経営に行き詰まっていた英国は、第三次中東戦争の翌年「1971年までにペルシャ湾岸地域から撤退する」と宣言、英国の支配下にあったバーレーン、カタール、アラブ首長国連邦、オマーンがそれぞれ独立を果たしました。

それではこれらの独立国が制定した国旗の多くはアラブ革命旗やアラブ解放旗に似ていたと思いませんか。

予想

- ア 多くの旗がアラブ革命旗に似ていた
- イ 多くの旗がアラブ解放旗に似ていた
- ウ 特にそういうことはなかった



アラブ解放旗
by *Santiago Dotor*



アラブ革命旗
by *Ralf Stelter*

■王制の国

英国支配下からこれら湾岸諸国が独立するときに、「諸国をまとめて統一国家とする」ことが検討されましたが、7つの首長国が一緒になったアラブ首長国連邦以外は、別々に独立国となりました。これらの国が制定した国旗は、アラブ首長国連邦がアラブ革命旗を採用した以外は、すべてオスマン朝支配下の伝統的な赤旗をモチーフにした独特のデザインのものでした（カタール国旗はバーレーンと紛らわしいので元の赤色から変更したものです）。

これらの国はすべて王制の国であり、英国が平和裏に撤退したため、英国はその影響力を現在まで保持しています。



アラブ首長国連邦国旗 1971-

by *António Martins*



カタール国国旗 1971-

by *Zeljko Heimer*



バーレーン国国旗 1972-2002

by *Zeljko Heimer*



オマーン・スルタン国国旗 1970-95

by *Zeljko Heimer*

[質問]

内政が混乱状態だったスーダンで 1969 年 5 月ヌメイリ中佐は軍事クーデターにより全権を把握し、国名をスーダン共和国からスーダン民主共和国に変更するとともに、国旗も変更しました。新国旗は次のどの旗に似ていたと思いますか。

予想

- ア 旧エチオピア国旗（汎アフリカ色）
- イ アラブ解放旗
- ウ アラブ革命旗
- エ その他



旧スーダン共和国 1956-70

by Zeljko Heimer



当時のエチオピア国旗

by Ivan Sache



アラブ解放旗

by Santiago Dotor



アラブ革命旗

by Ralf Stelter

■ スーダンの旗



ヌメイリが制定した新国旗(図 by *Zeljko Heimer*) は、アラブ解放旗と革命旗をあわせたようなデザインのものでした。

アラブの新指導者たちは、再びアラブ統合への道を目指し始めました。ヌメイリとナーセルと 9 月の革命で王制を倒したリビアのカダフィーは三国の完全統合を目差す宣言をして、シリアもそれに参加する方針を固めました。しかしヌメイリ政権を支持していたスーダン共産党は反共政策に傾きつつあったエジプトとの統合に反対しクーデターを起こしたため、ヌメイリは統合会議への参加を見合わせました。こうして残った 3 カ国が統合へと向かうことになりました。



カダフィー

リビアの最高指導者カダフィーは、1969 年に軍事クーデタによって国王を追放し、軍事政権を樹立した。統一アラブ国家の建設を理想としたカダフィーは西側諸国を批判し、革命家やテロ組織を支援した

Microsoft(R) Encarta(R)

Reference Library 2003. (C) 1993-2002 Microsoft Corporation. All rights reserved.

[質問]

1971年9月、エジプト、シリア、リビアは「イスラエルに対する相互軍事協定」を締結し三カ国の統合を宣言、翌1月に3カ国はアラブ共和国連邦（Federation of Arab Republics）を結成し、同じ国旗を掲げました。その旗はどんな旗だったと思いますか。次のどの旗に似ていたでしょうか。

予想

- ア それまでのシリアの旗
- イ それまでのリビアの旗
- ウ そのほか



それまでのエジプト（アラブ連合共和国）国旗
by *Zeljko Heimer*



それまでのシリア・アラブ共和国国旗
by *Mark Sensen*



それまでのリビア・アラブ共和国国旗
(*1)

■ アラブ共和国連邦の旗



by *Zeljko Heimer and Santiago Dotor*

その旗はエジプト、シリア、リビア国旗に共通のデザインであるアラブ解放旗をもとにしたもので、中心に鷹の紋章（ムハンマド一族の紋章）が入れられていました。かつてのアラブ連合共和国は、星の数で加盟国を表していましたが、今回加盟 3 カ国を表す 3 つ星の旗とすると、クーデターの頻発により内政が安定せず今回の連邦に参加できなかった当時のイラク国旗（右、それまでのシリアも同じ旗）と全く同じになってしまいますし、星をひとつで統一を表そうとすると、北イエメンの旗（左）と同じになってしまいます。そこで星の代わりに鷹の紋章を取り入れたというわけです。



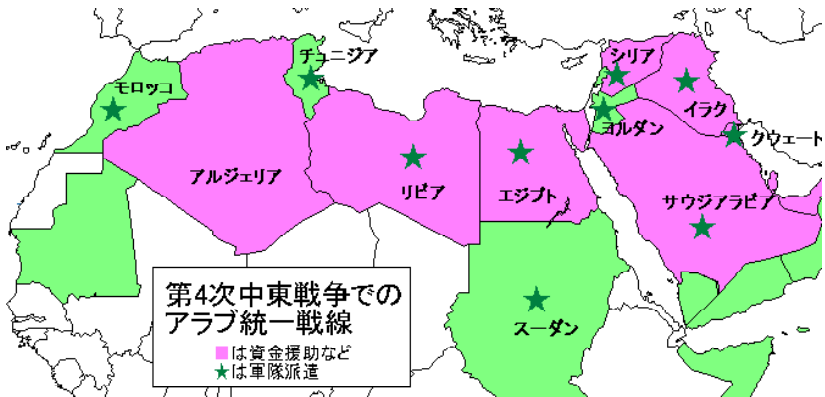
ナーセルの跡を継いでエジプト大統領となったサーダートは 1973 年 10 月、サーダートはシリアと共にイスラエル奇襲に成功し、第 4 次中東戦争が始まりました。

かくして、エジプト・シリア両軍はその緒戦においてイスラエル軍を徹底的に撃滅したのでした。サーダートはスエズ運河渡河に 2 万人の犠牲を覚悟していましたが、実際の死者は 200 名ほどでしかなかったのです。これはアラブ軍にとって初めての大勝利でした。

イスラエルは国家存亡の危機に際し、米国に対して緊急の武器援助を求め、「要求が受け入れられない場合は、あらゆる手段を行使する」として核兵器の使用をほのめかしました。ソ連が支援するアラブ軍の勝利も受け入れがたい米国は急遽大量の兵器を直接米

軍を動員して送り込み、イスラエル軍は反撃に転じて開戦時のラインを大きく越えて、シリアとエジプト両国の首都へと逆に迫ったところで安保理の停戦決議となりました。

この戦争では、国内情勢が安定していない国を除き、ほとんどすべてのアラブ諸国が部隊を出したり、武器や資金の支援をして参加し、初めてのアラブ統一戦線が実現しました。こうした統一戦線は、サーダートが民族主義によるアラブ統一の旗を降ろしたからこそできたものでした。「神は偉大なり」の旗を掲げてスエズを渡った敬虔なイスラムで反共のサーダートにならアラブ穏健派も協力できたのです。



(図：当時モーリタニア、ソマリアはアラブ連盟未加入)

さらに、第三次中東戦争では失敗した石油戦略が産油国で発動されました。10月16日 OPEC は一方的な原油価格の値上げ（最終的には4倍）を発表、翌日 OAPEC は5%の原油生産削減を決定し「イスラエルが占領地から撤退しパレスチナ人の合法的権利が回復されるか、各国の経済が破綻寸前になるまで、毎月5%ず

つ生産を削減する。しかし、アラブ支持の友好国には今まで通りの供給をする」と発表しました。

この決定に反対だったのはイラクだけで、イラクは 1972 年のイラク石油会社国有化による生産量減少で経済が破綻しかけていたからです。OAPEC では「対米禁輸措置」の声が強かったのですが、産油国の要であり親米のサウジアラビアは「米国に考える時間を与えるべき」として、禁輸は決定されませんでした。

しかし 19 日ニクソン大統領は米議会に対し「イスラエルへの 22 億ドルの軍事援助」を要求したため、サウジアラビアは「イスラムの守護者」の役割を選んで、「10%の生産削減と米国とオランダに対するあらゆる石油輸出の禁止」を決定し、イラク以外のアラブ産油国も従いました。オランダはもともと親イスラエルであり、イスラエルの武器輸送にはオランダの基地が使われていたからでした。

こうして産油国の生産削減は年末には 30%に達し、非友好国とされたヨーロッパ諸国や日本は大きな影響を受けることになりました。

1973 年 11 月アラブ首脳会議は、ヨルダンを除くすべての参加国の賛成により、「PLO をパレスチナ人民唯一の代表」と認め、「パレスチナ解放の決定は PLO が行う」ことを初めて決議しました。1974 年 2 月にはイスラム諸国首脳会議（構成国 54 カ国）が「〈PLO が 400 万人のパレスチナ人の唯一の合法的代表であること〉を再確認する決議」を採択。10 月には国連が総会で「PLO がパレスチナ人の代表である」と認め「総会への PLO 代表の出席」を求める決議を、賛成 105、反対 4 で採択しました。さらに「パレスチ

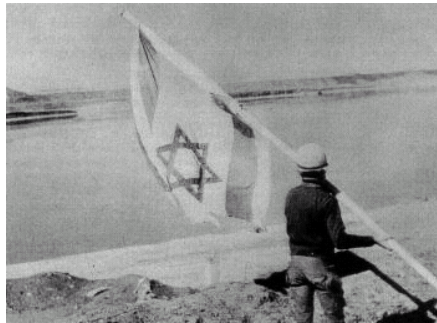
ナ人の民族自決権と独立，難民の帰還権」の承認と，「PLO に国連オブザーバー資格を与える」決議を採択しました。翌年にも「シオニズム非難」「PLO のジュネーブ会議招請」「ジュネーブ会議再開確認」の決議がそれぞれ採択されました。米国とイスラエルはすべての決議に反対しましたが，世界は PLO を認め始めていたのです。こうして 1970 年代には日本を含む 100 以上の国が PLO を承認したのです。

[質問]

イスラエルとアラブ諸国との関係は停戦状態のまま続いていきましたが，1975 年イスラエルはあるアラブの国と実質的な不戦条約を結びました。最初にイスラエルと不戦条約を結んだアラブの国はどこだと思いますか。

予想

- ア エジプト
- イ ヨルダン
- ウ シリア
- エ レバノン
- オ そのほか



スエズ運河に再び掲げられたイスラエル国旗 (第 4 次中東戦争)

■不戦条約

キッシンジャーは、国際的な動きとなってきたパレスチナ国家樹立を阻止するため、エジプトとイスラエルの和平交渉を成立させ、アラブ諸国の足並みを乱れさせることに力を注ぎました。そして1975年9月、エジプトとイスラエルは「紛争解決のために武力や封鎖などを行わない」ことを約束し、事実上の不戦条約を締結しました。

この条約によりイスラエルは米国から軍事援助と緊急時の石油の供給、「PLOの不承認」などという約束を得たのでした。1978年9月エジプトとイスラエルは「キャンプ・デービッド合意」に達しました。それによりシナイ半島がエジプトに返還されましたが、パレスチナ問題についてははっきりしたものは何も示されませんでした。サーダートは、「アラブの盟主であることよりもエジプトのリーダーであること」を選んだのです。

かくしてパレスチナ問題は「5年間の自治を認め、その後イスラエル、エジプト、ヨルダン、パレスチナで最終的地位について交渉する」というだけのもので、未来に対するなんの約束（イスラエル軍の撤退やパレスチナ建国や難民の帰還）もないものでした。

[質問]












エジプトのこういった単独和平を「アラブの大義に対するエジプトの裏切り」としてリビア、シリア、イラクなどのアラブ強硬派は、強く非難しました。そしてエジプトと同じ国旗を使っていたリビアとシリアは、国旗を変更しました。それぞれどんな国旗

に変更したと思いますか。

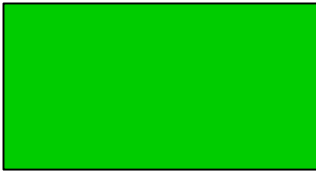
リビアは（ ） シリアは（ ）

予想

- ア 全く新しい旗
- イ ひとつ前の国旗
- ウ もっと昔の国旗

	イラク	シリア	エジプト	リビア
1946	1932独立, 王国	独立, 共和国		
1947				
1948				
1949				
1950			 英国支配	
1951				
1952				独立, 連合王国
1953				
1954			独立	
1955				
1956				
1957				
1958	クーデター, 共和国			
1959				
1960				
1961				
1962			アラブ連合共和国	
1963				
1964				連邦制廃止 王国
1965				
1966				
1967				
1968				
1969				クーデター
1970				
1971				
1972				
1973				
1974				
1975				
1976				
1977				
1978				国旗と国名変更 社会主義人民リビ ア・アラブ国
1979				
1980		国旗変更		

■ リビアとシリアの旗



サーダートのイスラエル訪問に怒ったカダフィーは、エジプト、シリアとのアラブ共和国連邦から脱退、すぐさま国旗も変更しました。その国旗はイスラム教を表す緑一色のもので、イスラム原理主義の旗でした。

シリアもエジプトがイスラエルと 1980 年に平和条約を締結したのに反対し、国旗を変更しました。新しい国旗は、過去の 3 つ星のものではなく、エジプトのアラブ連合時代のものでした。つまり、「過去のエジプトとの連合時代に戻りたい」というわけなのでしょう。(図 by *Zeljko Heimer*)。



■ サードート暗殺

米国は、親米的な王制の湾岸諸国がエジプトを見習って、イスラエルと講和するものと予想していましたが、アラブの大義に逆らってイスラエルと講和することにより、王制打倒の動きが出ることを恐れた湾岸諸国は、強硬派と同じくエジプトを非難し、外交関係を閉ざしました。さらに平和条約設立と同時に、アラブ連盟はエジプトの除名と制裁措置を決定したのです。

さらに経済制裁による湾岸諸国からの援助停止が、エジプトの経済悪化にいつその拍車をかけていました。米国との協調による西側資本の投入も、貧富の差をますます拡大させただけで大衆の利益にはなりません。こうしてアラブの大義を達成できない指導者に不満を持つ大衆は、「イスラム法による統治の昔に戻る」というイスラム原理主義を拠り所としていき、サーダートは、そんなイスラム原理主義過激派に暗殺されました。

イスラエルにとってエジプトとの和解は、パレスチナ問題の解決ではなく、他のアラブ諸国を圧倒するためでした。だからエジプトからの侵攻の心配がなくなると、イスラエルは PLO の本拠地があるレバノンに侵攻を開始しました。

1980 年 7 月国連総会の「イスラエルの全占領地からの撤退、パレスチナ人の民族自決権承認」決議の翌日には、イスラエルは国際的非難にもかかわらず東エルサレムを併合し、エルサレムを首都と決めました。さらに 1981 年 6 月にはイラクがフランスの協力で建設していた原子炉を「原爆製造の危険性がある」として奇襲により攻撃して破壊しました。

安保理はイスラエル非難決議を採択したものの、イスラエルはそれを完全に無視したばかりか、7 月にはベイルート（レバノンの首都）を空爆しました。12 月にはゴラン高原を併合、安保理は「併合の無効と撤回を求める決議」を採択しましたが、イスラエルはこれも無視しました。

[質問]

アラブ連盟からエジプトの除名により、ナーセル以来アラブのリーダーであったエジプトは、アラブの孤児になってしまいました。では 1978 年 11 月アラブ首脳会議は、エジプトに替わるアラブのリーダーをどこの国と定めたと思いますか。

予想

- ア シリア（かつてエジプトと連合）
- イ リビア（同上）
- ウ サウジアラビア（イスラム教の守護国）
- エ イラク（アラブ諸国第二の人口）

■新しいアラブの指導者

エジプトに替わるリーダーとしてアラブ諸国が選んだのは、イラクでした。イラクはアラブ諸国の中でエジプト、シリアに次ぐ軍事大国であり、アラブの大義を主張し続け、イスラエルとアラブの戦闘にはすべて出兵していました。イスラエルのレバノン侵攻に対しても、出兵したのはイラクだけでした。

【質問】

エジプトが親米国家となったためソ連は、次のアラブのリーダーに接近しました。イラクは 1972 年 4 月ソ連と友好協力条約を締結し、軍事同盟関係に入りました。これはソ連にとってエジプトに次ぐ非共産諸国との軍事同盟で条約の内容もほとんど同じものでした。

しかし条約の目的には、ソ連・エジプト間の条約とは異なるものが書かれていました。それは何だったと思いますか。

予想

- ア 反欧米
- イ 反シオニズム
- ウ アラブの統一
- エ そのほか

■イラクの姿勢

イラクがソ連と結んだ条約は4つの点でソ連とエジプトが結んだ条約と異なっていました。それは「石油資源に対するイラクの主権の明記」「イラクの国土を他国の軍事基地として貸与しない」「ソ連の軍事顧問のイラクへの派遣はない」ということと、条約の目的に「帝国主義、植民地主義対する闘争」に加えて「シオニズムとの闘争」が入れられていたことでした。

イラクにとってソ連との軍事同盟は、軍備拡張を続ける隣国のイランに備え、イラク国内のクルド人問題をソ連の圧力で調停し、石油資産を国有化するために不可欠のものでしたが、かねてからの主張である「アラブの大義」＝反イスラエルの旗を降ろすことはなかったのです。そうしてソ連は莫大な軍事援助をイラクに与える見返りとして、イラク石油の権利を得たのでした。

1984年、エジプトは初めての総選挙を実施し、与党が圧勝しましたが、イスラム主義政党も躍進しました。そして国旗を変更しましたが、それは、それまで使われていた「ムハンマドの一族」を表す鷹を「サラディンの鷲」へと変更したのです。「サラディン



の鷲」は最初の共和国旗に使われていたものですが、宗教色を薄めたといえます。

by *Mark Sensen*

名実ともにアラブのリーダーになったイラクは、米国が援助してイスラエルを支持するイラン王国と争っていました。イランが

イスラム革命により、宗教国家となると、今度は米国がイラクを支援し、イラン・イラク戦争となりました。

戦争は長期間にわたった後、停戦し、イラクは疲弊しました。戦争中、湾岸諸国はイラクに経済援助を行っていましたが、米国を後ろ盾とするクウェートはその取り立てをイラクに迫りました。そして、イラクはクウェートに侵攻し、併合しました。

イラクはクウェートに侵攻してから、それまでの国旗に「神は偉大なり」という聖句を加えて国旗を変更しました。

by *Mark Sensen*



イラクが国旗を変更したのは、多国籍軍による空爆開始 4 日前の 1991 年 1 月 13 日のことでした。バース党は非宗教が党是ですが、フセイン始めイラク国民のほとんど全部がイスラム教徒です。そこでフセイン大統領は「侵攻してくる異教徒軍と戦え」と戦略的にジハード（聖戦）を呼びかけたのです。それが国旗にも現れているというわけです。アラブの国旗を見ても、国旗に大きく聖句が入っているものは極めて希なことで、世俗主義のイラクがこういった国旗を採用したのは、かなりの決意があったことでしょう。

しかしイスラムの教えでは「敵が強力すぎる時は、一時的に降伏して良い」となっているため、強大な多国籍軍と戦うイラクを支援するイスラム軍はなく、エジプトなどは多国籍軍として参戦していたのです。

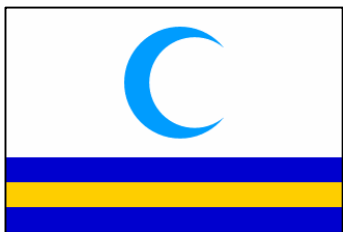
圧倒的な多国籍軍の攻撃に際して、国連は「40 万人のイラク国

民が国外へ脱出して難民となる」と予想していましたが、実際に脱出したのは2万人だけでした。イラク国民は「防衛戦争」という「聖戦」を戦っていたということなののでしょうか。

それからのイラクは常に米国の「敵国」として経済制裁などを受けました。そして、「でっちあげの理由」によるイラク戦争が開始され、イラクは米英軍に占領されました。

米国はイラク国旗を変更したがっていました。イラク国旗のデザインは「アラブの統一と独立」を表す「アラブ解放旗」であり、聖句は「イスラム」と「フセイン」を象徴するものだからです。

イラク統治評議会は、2004年4月に、まったくアラブの旗らしく



くないデザインの「新国旗案」(左図 by Pascal Gross, FOTW)を出しましたが、国民から「まるでイスラエルの旗のようだ」と猛反発をくらって「これは新国旗ではない」と表明せざるを得ませんでした。アラブの

旗の歴史を見たあなたなら、イラク国民の気持ちがわかるのではないのでしょうか。

そこで、米占領当局は、湾岸戦争開戦直前にフセインが国旗に加えた「アッラーは偉大なり」の文字を削除しようとしたのですが、統治評議会の賛成を得ることはできませんでした。イスラム教徒にとって、「聖句を削除する」ということは、それが「独裁者が自筆で加えたもの」だとしても、認めることができないことだからです。

では「アラブ解放旗」ではなく「アラブ革命旗」なら占領当局

は満足するのでしょうか。ヨルダンなどもアラブ革命旗を国旗として使っています。

イラクが「占領」されている限り、イラク国旗にアラブ革命旗が使われることはないでしょう。なぜなら、バース党の旗が、アラブ革命旗そのままだからです。



バース党旗

by Marcus E. V. Schmöger



2004年6月にやっとまとまった妥協案は、「フセインの筆跡をやめて、書体を一般的なものに変更する」ということでした。

by Pascal Gross

【問題】

2005年末、新しいイラク憲法が成立しました。では、その憲法には、国旗のことはどう書かれているのでしょうか。

予想

- ア いままでの国旗と同じ
- イ 少し変更
- ウ 全く違う
- エ そのほか

■イラク新憲法

憲法には「国旗は法によって定める」とされているだけです。そしてその法律はまだ定められていないので、現イラク国旗は「暫定的なもの」としたいのでしょうか。この新憲法には「イスラム教を国教とし、法律の主要な源泉のひとつとする。イスラムの教えに反し、民主主義の原理に反する法律はみとめられない」とあり、世俗政権だったイラクが大きく変わったことを良く表しています。また「サダム・フセイン式のバース主義を禁止する」という条項もありましたが、イラクの国旗はそれに逆らっているかのようです。

米国などはイラクの破壊に成功しました。しかしその国旗を変えることはできなかったのです。

■ 典拠文献の一部

- ・ 萩野博『イラク王国』東亜研究所 1944
- ・ 立山良司ほか『中東』自由国民社 1994 (*5)
- ・ 板垣雄三『アラブの解放』平凡社 1974 (*3)
- ・ 高橋和夫『アラブとイスラエル』講談社現代新書 1992(*6)
- ・ 山内昌之『民族と国家』岩波新書 1993
- ・ 山崎雅弘『中東戦争全史』学研 M 文庫 2001(*13)
- ・ 板倉聖宣『絵とき世界の国旗』仮説社 2000.8
- ・ 板倉聖宣『近現代史の考え方』仮説社 1996
- ・ Pierre C. Lux-Wurm 『LES DRAPEAUX DE L'ISLAM』Buchet · Chastel 2001 (*1)
- ・ Alfred Znamierowski 『The world encyclopedia of FLAGS』Hermes House 2001
- ・ 『Complete FLAGS of the world』Dorling Kindersley 1999
- ・ ホイットニー＝スミス『世界旗章大図鑑』平凡社 1977
- ・ P=K=ヒッティ『アラブの歴史 上下』講談社学術文庫 1982
- ・ 岡倉徹志『アラブのゆくえ』岩波ジュニア新書 1991 (*2)
- ・ Flags Of The World (*8) <http://flagspot.net>
作者名の表示のある旗の図はすべてこのサイトよりのもの。

- ・ 『プロムナード世界史』 浜島書店 1999 (*10)
- ・ 『世界大百科事典』 平凡社
- ・ 『エンカルタ 2003』 マイクロソフト
- ・ 『スーパーニッポニカ 2003』 小学館
- ・ The history of kuwait flag (*7)
<http://www.geocities.com/Athens/Ithaca/5666/main.html>
- ・ 松井茂『イラク 知られざる軍事大国』 中公文庫 1991
- ・ Charles Tripp 『A HISTORY OF IRAQ』 Cambridge University Press 2000
- ・ 『図説中東戦争全史』 学習研究社 2003.9 (*4)
- ・ 『図説湾岸戦争』 学習研究社 2003.4
- ・ アラブ連盟公式サイト
<http://www.arableagueonline.org>
- ・ イスラエル外務省 (*11)
<http://www.mfa.gov.il/>
- ・ OPEC <http://www.opec.org/>
- ・ OAPEC (*12) <http://www.oapecorg.org/>
- ・ 川本和孝『キッシンジャーとサダトとソ連』 展転社 1986
- ・ 川上洋一『クルド人 もうひとつの中東問題』 集英社新書 2002
- ・ ウィリアム＝ブルム『アメリカの国歌犯罪全書』 作品社 2003
- ・ 鳥井順『イラン・イラク戦争』 第三書館 1990
- ・ 村松剛『血と砂と祈り 中東の現代史』 中公文庫 1987
- ・ 村松剛『湾岸戦記』 学習研究社 1993
差別的な表現や人を馬鹿にしたような表現が多く、読んでいてちょっと不愉快な本。
- ・ アルリファイ『アラブの論理』 講談社 1991
著者は駐日イラク大使。
- ・ users.erols.com/mwhite28/iraniraq.htm イラン側の資料
- ・ 松本逸也『(アラブ発) 仕組まれた湾岸戦争』 人間と歴史社 1991
- ・ ピエール＝サリンジャー『湾岸戦争 隠された真実』 共同通信社 1991
- ・ スコット＝リッターほか『イラク戦争 ブッシュ政権が隠したい事実』 合同出版 2003
著者は元国連大量兵器査察官
- ・ 小山茂樹『サッダームフセインの挑戦』 日本放送出版協会 1990
- ・ ラムゼー＝クラーク『ラムゼー・クラークの湾岸戦争 いま戦争はこうして作られる』 地湧社 1994
間違いなく名著。著者は元米法務省長官。

などなど・・・